

27. 3. 25

平成 27 年度

事業計画書

社会福祉法人^{恩賜財団}東京都同胞援護会

恩賜 社会福祉法人財団東京都同胞援護会憲章（同援憲章）

同援憲章

同胞援護会は、敗戦後まもなく戦時下の軍人援護会と戦災援護会の合併を機に全国組織として、日本の社会事業発展を目指して誕生しました。

やがて全国支部組織から独立し、東京都同胞援護会として、戦後の復興事業から新しい社会福祉を目標として生まれ変わりました。

発足において同胞援護会は、「同胞愛」、「四海皆兄弟」、「扶け合い」の言葉を基本理念に掲げました。戦後の荒廃した社会にあって、何よりも国民の復興に向けた精神のよりどころを高く標榜したものでした。

同胞援護会は、戦後の混乱期から幾多の時代の変遷にあっても、変わることなく社会福祉の道を、多くの人々とともに歩んできました。

この精神は現在もなお同胞援護会の理念として、強く受け継がれているものであります。

いずれの時代にあっても福祉は、普遍的なものであり私たちは、常に地域の皆様とともに、基本的人権の思想を何よりも尊重し、真の福祉を目指して迷うことなく進んでまいります。

東京都同胞援護会は、これからもこの崇高な理念を基本にして、福祉社会の恵沢を、全ての人々とわかちあうために努めていきます。

基本理念

- 1 個人の尊厳をまもり、利用者の意向を十分に尊重いたします。
- 2 利用者の心身の健全と、一人ひとりに応じた自立を支援いたします。
- 3 地域の皆さんと一緒に福祉の街づくりに努めます。

基本方針

- 1 利用者の立場に立ってサービスを考えます。
- 2 利用者のため質の高いサービスを提供します。
- 3 笑顔と挨拶と礼儀を大切にします。
- 4 透明で開かれた施設を目指します。
- 5 健全な施設経営を目指します。

目 次

I	平成 27 年度事業計画	1
II	事業経営	4
1	保育支援系施設の経営	4
2	高齢者支援系施設の経営	14
3	障害者支援系施設の経営	34
4	児童・女性支援系施設の経営	43
5	医療事業施設の経営	51
6	収益事業の経営	53
7	社会貢献事業	54
8	人材育成事業	54
III	職員福利厚生制度並びに職員研修制度	55
IV	理事会及び評議員会	60
V	施設長会議及び各種委員会	61
VI	事務局主要業務	62

I 平成27年度 事業計画

我が国の経済は、緩やかな回復基調が続き、雇用環境も改善されてきています。しかし、個人消費は依然として弱く、また海外景気の動向によっては不安定な状況が続くとみられます。

そうした中、都の税収は3年連続の増収となる見込で、27年度の福祉・保健分野の歳出予算案は1兆1千億円を超えております。

一方、国においては3年ごとの介護報酬の改定で大幅な削減がなされ、事業者にとっては大変厳しい内容となりました。

当法人としては、今年度の事業実施にあたり、引き続き、利用者の安心・安全を確保し、利用者の立場に立った質の高いサービスを提供するとともに、安定した財政基盤の確立、サービスの担い手である人材の確保と育成を重点目標にいたします。

まず、利用者の安全で快適な利用環境を提供するため、施設・設備の改修や整備を行います。

今年度は、(仮称)拝島駅前保育所の建設及び立川福祉作業所の改築を竣工させるとともに、(仮称)昭和郷高齢者複合施設の建設に着手します。

また、防災・減災に関する備えや、職員教育に引き続き取り組んでまいります。

次に、利用者満足度の高いサービスを提供するために、専門的技術ならびに接遇マナーの向上など職員の資質向上のため、職場内外の研修を充実するとともに、新たに職員の海外派遣研修を実施いたします。

次に、安定した財政基盤の確立を図るため、資金管理や人員管理、物品調達などを一元的に行い、コスト削減に向けて努力いたします。

また、人材確保については、今年度も新規学卒予定者への求人活動を積極的に展開するとともに、人材の育成に努めます。

さらに、新たに法人の自主事業として、地域ニーズに応えるための社会貢献活動に取り組めます。

最後に昭島病院についてですが、今年度も安定的な経営に努めるとともに、引き続き医療の質向上や、救急医療の積極的受け入れ、地域の関係医療機関等との連携を図りつつ地域の中核病院として運営してまいります。

本年度も役職員一体となり利用者の皆様や地域の方々から喜ばれる法人運営に向け努力してまいります。

平成27年度運営施設(事業)一覧表

グループ名	種 別	施 設 名	定員 (世帯)	職 員 数			
				正規職員	契約	非常勤	合計
保 育 支 援 系 施 設	保 育 所	むさしの保育園	169	38	3	19	60
		本園	140				
		方南分園	29				
		昭和郷保育園	100	25	2	21	48
		大山保育園	130	25	5	11	41
		昭和郷第二保育園	190	33	4	24	61
		みなと保育園	70	19	2	4	25
		同援みどり保育園	125	28	2	20	50
		つつじが丘保育園	110	29	2	15	46
		同援さくら保育園	108	26	0	23	49
	保育施設計		1,002	223	20	137	380
高 齢 者 支 援 系 施 設	養護老人ホーム	万世敬老園	200	25	7	21	53
	軽費老人ホーム	サンホーム	50	8	9	6	23
		ライトホーム	50	1	2	0	3
	救護施設	昭島荘	100	36	1	9	46
	小計		400	70	19	36	125
		フジホーム	100	31	23	12	66
		ニューフジホーム	100	42	10	17	69
		原町ホーム	50	20	4	16	40
		ゆたか苑	50	26	2	12	40
		ひかり苑	50	22	12	8	42
	小計（介護施設）		350	141	51	65	257
	短期入所生活介護事業 ※専用数（空所利用数）	フジホーム	(6) 4	—	—	—	—
		ニューフジホーム	(6) 4	—	—	—	—
		原町ホーム	(4) 2	—	—	—	—
		ゆたか苑	(4) 4	—	—	—	—
		ひかり苑	(5) 4	—	—	—	—
	認知症対応型老人共同 生活援助事業（グループホーム）	かえで	9	2	4	3	9
		原町グループホーム	18	3	3	16	22
	老人デイ サービスセンター	フジ・デイサービスセンター	25	3	1	10	14
		フジ・デイホーム	10	1	1	5	7
		原町デイサービスセンター	12	1	1	6	8
		東大和市ふれあい デイセンターひかり苑	12	1	3	6	10
	地域包括支援センター	新宿区榎町高齢者総合相談センター	—	10	0	2	12
		昭島市中部地域包括支援センターあいぼっく	—	3	0	3	6
	居宅介護支援事業所	フジホーム	—	1	0	2	3
		原町ホーム	—	2	0	0	2
		ゆたか苑	—	1	1	0	2
		ひかり苑	—	1	0	0	1
	小規模多機能型 居宅介護事業	原町小規模多機能居宅介護センター	25	4	2	6	12
	小計（介護在宅）		129	33	16	59	108
	公益事業	フジホーム診療所	—	0	0	0	0
		介護職員初任者研修事業	—	0	0	0	0
	高齢者施設計		879	244	86	160	490

グループ名	種別	施設名		定員 (世帯)		職員数				
						正規職員	契約	非常勤	合計	
障害者支援施設	障害者支援施設（入所）	さやま園（居住）	施設入所支援	96	100	63	15	37	115	
	障害福祉サービス （通所）	さやま園	生活介護	(96)						
			短期入所	4						
		小茂根福祉園	生活介護	40	70	33	0	6	39	
			就労継続支援B	30						
		立川福祉作業所	生活介護	30	75	11	2	12	25	
			就労継続支援B	35						
			就労移行支援	10						
		東村山生活実習所	生活介護	30	40	12	8	9	29	
			就労継続支援B	10						
			短期入所	2						
	心身障害者福祉ホーム	さくらんぼ			-	14	2	6	22	
	身体障害者福祉センター	さいわい福祉センター			-	21	0	21	42	
	共同生活援助事業 （知的障害者グループホーム）	アミニティ富士見				6	—	(1)	—	—
		グリーンハイツ				6	—	(1)	—	—
		フレンズ・モエ				5	—	(1)	—	—
		バル				6	—	(1)	—	—
		それいゆ小川				7	—	(2)	—	—
		ファーム竹丘1				6	—	(2)	—	—
		ファーム竹丘2				7	—	(1)	—	—
		レヂオンス巣鴨				4	—	(1)	—	—
		はなみずき				4	—	(1)	—	—
		ユーカリ				4	—	(1)	—	—
		夢オハナ				6	—	(1)	—	—
		結オハナ				6	—	(1)	—	—
	特定相談支援事業	さやま園				—	2(兼務)	0	0	0
		さくらんぼ				—	1(兼務)	0	0	0
	障害者施設計				354	154	27	91	272	
児童・女性支援施設	母子生活支援施設	サンライズ武蔵野			20	7	4	3	14	
		緊急一時保護			1					
		サンライズ青山			20	7	2	5	14	
		港区緊急一時保護			1					
		サンライズ万世			20	7	4	5	16	
	緊急一時保護			2						
	児童養護施設	双葉園			38	26	6	5	37	
			地域小規模「高嶋の家」		6	4	0	0	4	
			地域小規模「くすのき」		6	4	0	0	4	
			昭島市子どもトワイライトステイ事業		2	0	0	3	3	
	婦人保護施設	いこいの家			40	8	3	3	14	
	児童厚生施設	昭島市児童センターぱれっと			-	3	0	7	10	
	放課後児童健全育成事業	つつじが丘北児童クラブ			50	0	0	6	6	
	児童・女性施設計				206	66	19	37	122	
施設合計				2,441	687	152	425	1,264		
医療	病院	昭島病院		199	195		136	331		
	訪問看護	昭島病院訪問看護ステーション		—	4		2	6		
収益	印刷	事業局		—	13	2	0	15		
	不動産賃貸			—	—	—	—	—		
	駐車場	病院駐車場		—	—	—	—	—		
合計				2,640	899	154	563	1,616		

備考：１ 共同生活援助事業の職員数は委託事業のため職員数には含まない。()内の職員数は、委託職員数。
 なお、計画作成担当者はバックアップ施設の職員が兼務する。

Ⅱ 事業経営

1 保育支援系施設の経営

認可保育所を経営します。

1 グループ方針

未来に安心とやすらぎのある福祉社会を、すべての人々と共につくるという課題に向き合っていきます。
人や自然を愛し、愛情豊かに子どもを育て、夢を育み、地域社会の人々と希望ある未来を創りだしていきます。

2 グループ目標

- 1 子どもの人権や主体性を尊重した質の高い保育を展開し、子どもの生きる力を育てます。
- 2 地域社会の子育て支援の拠点として、さまざまな機関、組織による連携・協働を通して保育所の役割を果たします。
- 3 積み上げた保育のノウハウを活かし、保護者の育児力向上に向けて子育てに関する情報の提供に努めるとともに、保護者の就労を積極的に支援し、多様なニーズに応える取り組みを展開します。
- 4 職員育成計画に基づき職員の質の向上、多様なサービスを提供できる人材の育成および研修の充実を図ります。
- 5 保育園の安全対策の徹底を図り、利用者の安心を確保します。また、自然災害に対応する為、常にBCP(事業継続計画)を見直していきます。
- 6 今年度から開始される「子ども・子育て支援新制度」について、適切に対応をします。
- 7 保育施設開設に向け、これまで培った保育理念、実践方法をもって、質の高い保育を確保できるようグループとして取り組みます。

平成27年度 事業計画(保育所)

施設名 むさしの保育園

定員 169 名

【地域における施設ミッション】

人や自然を愛し、愛情豊かに子どもを育て、夢を育み、地域社会の人々と希望ある未来を創る

【重点運営目標】

- 1 子どもの人権や主体性を尊重し、専門知識を活かした保育を展開し、子どもの生きる力を育てます。
- 2 地域子育て支援の拠点として、地域の様々な組織との連携・協働を図りながら、保育所としての役割を果たします。
- 3 職員育成計画に基づき、職員の資質向上、様々なサービスに応える専門性、スキルアップに向け、研修を充実させます。
- 4 利用者にとって清潔で、安心安全な園生活が送れるよう、環境設備に努めていきます。
- 5 区と連携を図りながら、「子ども・子育て支援新制度」に合わせた適切な保育サービスを展開いたします。

【施設目標利用率】

平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度見込	平成27年度目標
107.8%	100.0%	104.1%	107.9%

【重点支援目標】

- 1 一人ひとりの子供の個性や発達を大事にし、子どもが安心感と信頼感をもって、自発的・意欲的に活動できるよう、子どもの生きる力を育てる援助をします。
- 2 遊びの中での育ち合いを大切に見守りながら、子ども相互の関係づくりや社会性を育む保育に努め、豊かな心と社会性、道徳性のある子どもを育てます。
- 3 保育環境の充実を図り、子どもたちが日々感動したり、驚きや発見に出会えるよう、保育内容の充実を図ります。
- 4 子ども達の気持ちを大切にし、情緒の安定に努めた保育を行って行きます。また、保育の専門性を活かし、相談・助言などの保護者対応をして行きます。
- 5 地域のニーズに合わせた一時保育や育児支援を行うとともに、育児講座、保育所体験を継続し、地域の子育て支援の拠点となるよう努めて行きます。

【施設・設備整備計画】

(単位:千円)

第1期(4～6月)		第2期(7～9月)		第3期(10～12月)		第4期(1～3月)	
物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額
		ランチルーム机	990	パソコン2台	340		
購入等合計	0	購入等合計	990	購入等合計	340	購入等合計	0

リース等(物件・年額)	金額
リース等合計	0

平成27年度 事業計画(保育所)

施設名 昭和郷保育園

定員 100 名

【地域における施設ミッション】

人や自然を愛し、愛情豊かに子どもを育て、夢を育み、地域社会の人々と希望ある未来を創る

【重点運営目標】

- 1 子どもの人権や主体性を尊重し、専門的知識を活かした質の高い保育を展開します。
- 2 地域社会の子育て家庭のために、保育所が持つ専門性を十分発揮して育児講座や相談、体験保育等で子育て支援に努めます。
- 3 「子ども・子育て支援新制度」の実施に伴い、円滑に運営できるよう状況の変化に合わせて適切な対応をします。
- 4 職員一人ひとりの能力向上のため研修等の充実を図り、多様なサービスと質の高い保育が出来るよう職員を育成します。
- 5 日々安全な環境を整えるとともに、自然災害、緊急時に備えた対応ができるようにBCP(事業継続計画)を見直し、安全対策の徹底を図ります。

【施設目標利用率】

平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度見込	平成27年度目標
120.0%	117.2%	115.1%	116.0%

【重点支援目標】

- 1 生活や遊びの中での様々な体験を通して、豊かな感性を育み子どもの生きる力を育てます。
- 2 家庭的な雰囲気の中で一人ひとりの成長発達を捉えながら、健康で情緒が安定した生活ができるように援助していきます。
- 3 縦割り保育で個々の意思を尊重し、満足出来る経験を重ねて自信を持ち、他児と関わる中でやさしさや思いやりの気持ちが育つよう援助します。
- 4 全身を使って遊ぶことを経験し、健康な身体づくり、運動能力の向上を目指します。
- 5 子どもが自分で考え創造して判断できるよう、充実した保育内容と豊かな環境づくりに努めます。

【施設・設備整備計画】

(単位:千円)

第1期(4～6月)		第2期(7～9月)		第3期(10～12月)		第4期(1～3月)	
物件名(購入・工事)	金 額	物件名(購入・工事)	金 額	物件名(購入・工事)	金 額	物件名(購入・工事)	金 額
遊戯室舞台照明設置	910	照明器具交換	800			食器洗浄機	1,350
購入等合計	910	購入等合計	800	購入等合計	780	購入等合計	1,350

リース等(物件・年額)	金 額
観察用水槽	355
リース等合計	355

平成27年度 事業計画(保育所)

施設名 大山保育園

定員 130 名

【地域における施設ミッション】

人や自然を愛し、愛情豊かに子どもを育て、夢を育み、地域社会の人々と希望ある未来を創る

【重点運営目標】

- 1 子ども一人ひとりの人権や主体性を大切に、様々な経験をととして子どもの生きる力を育てます。
- 2 環境の変化による家庭・地域における養育力の低下を、保育所を拠点として、子育て支援に努めます。
- 3 職員育成計画による新任・中堅職員のチューター制度の充実、研修参加での専門性スキルアップ等人材育成に努めます。
- 4 新園舎では安全対策の徹底を図り安心を確保し、自然災害に対応するため常にBCP(事業継続計画)を見直して行きます。
- 5 今年度から施行される「子ども・子育て支援新制度」に合わせた適切な対応をします。

【施設目標利用率】

平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度見込	平成27年度目標
102.2%	101.6%	102.4%	100.0%

【重点支援目標】

- 1 「たくましく生きる力を育てる」を目標に子どもが安全に過ごせる保育環境を整え一人ひとりの人権に配慮し成長発達に合わせた援助をします。
- 2 地域社会の中でともだちや職員・地域の人とのかかわりの中で「こころの育ち・豊かな心」が育つよう努めます。
- 3 子どもが主体的に行動できるよう保育の充実に努めます。また子どもの体力向上に向け遊び込める環境設定づくりを図ります。
- 4 研修計画に基づき職員の育成・質の向上を図り、子ども・保護者への支援に努めます。
- 5 新園舎での保育は園児の安全確保に努め安心して過ごせるようにします。

【施設・設備整備計画】

(単位:千円)

第1期(4～6月)		第2期(7～9月)		第3期(10～12月)		第4期(1～3月)	
物件名(購入・工事)	金 額	物件名(購入・工事)	金 額	物件名(購入・工事)	金 額	物件名(購入・工事)	金 額
パソコン	600	PCタッチパネル	550	アルミステージ	850		
購入等合計	600	購入等合計	550	購入等合計	850	購入等合計	0

リース等(物件・年額)	金 額
印刷機	180
リース等合計	180

平成27年度 事業計画(保育所)

施設名 昭和郷第二保育園

定員 190 名

【地域における施設ミッション】

人や自然を愛し、愛情豊かに子どもを育て、夢を育み、地域社会の人々と希望ある未来を創る

【重点運営目標】

- 1 児童福祉法、子ども・子育て支援新制度に基づき、本園を利用する乳児及び幼児が心身ともに健やかに育成されるよう教育及び保育の提供を行います。
- 2 本園に蓄積された専門知識や能力を活かし、地域関係機関と連携して園児の保育の充実と保護者、地域の子育て支援を行います。
- 3 必要に応じ保育定員の弾力化、一時保育の受け入れを行い、待機児童解消に努めます。
- 4 園児が健やかに成長する為に必要な環境を確保するとともに、非常時を含めた安全対策と衛生対策を強化し、園児、保護者が安心して利用できるよう努めます。
- 5 園児の人権擁護、虐待防止、多様なサービスと質の高い保育を提供できるよう、職員育成計画に基づく園内外の研修の充実により職員育成に努めます。

【施設目標利用率】

平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度見込	平成27年度目標
106.4%	101.3%	106.5%	104.0%

【重点支援目標】

- 1 本園は、園児の意思及び人格を尊重して、常に園児の立場に立って保育を提供します。
- 2 上質な経験や体験、文化の伝承から生きる力の基礎を育てるとともに、同年齢や異年齢のかかわりの中から社会性を育み健康で逞しい子供の育成を目指します。
- 3 保育士等の適切な言葉かけや対応により、子どもの自己内対話能力を育て、第二の自我形成から自分で判断できる子どもの育成に努めます。
- 4 安全で衛生的な環境を用意し、保育園に蓄積された保育・保健・栄養等のノウハウを活かし、子どもたちが安心して過ごせるようにします。
- 5 園庭開放やちびっこ広場を通して地域の育児ニーズを把握し、育児支援を行うとともに、地域の育児支援拠点となるよう努めます。

【施設・設備整備計画】

(単位:千円)

第1期(4～6月)		第2期(7～9月)		第3期(10～12月)		第4期(1～3月)	
物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額
沐浴室エアコン設置	800	外壁木部塗装	600	園庭固定遊具設置(幼児)	4,000		
				音環境改善工事	800		
購入等合計	800	購入等合計	600	購入等合計	4,800	購入等合計	0

リース等(物件・年額)	金額
水槽	360
リース等合計	360

平成27年度 事業計画(保育所)

施設名 みなと保育園

定員 70 名

【地域における施設ミッション】

人や自然を愛し、愛情豊かに子どもを育て、夢を育み、地域社会の人々と希望ある未来を創る

【重点運営目標】

- 1 保育園の役割や機能を十分発揮し、子育ての拠点として地域に根ざした保育園として定着するように努めます。
- 2 知識・技能の専門性を高めるために内外の研修に積極的に参加すると共に、業務の適切な実践を図り、より良いサービスの提供ができるように努めます。
- 3 安全対策の徹底を図ると共に、第三者評価・苦情相談等の声を十分に反映した事業や保育ができるように努めます。
- 4 新制度に基づいた計画を策定し、子どもたちが健やかに成長できるよう支援して行きます。
- 5 職員一人ひとりの特性を活かした人材育成に取り組み、職員の定着を図ります。

【施設目標利用率】

平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度見込	平成27年度目標
103.0%	103.4%	101.0%	100.0%

【重点支援目標】

- 1 幼児期の教育と小学校教育の円滑な接続を図るため、保育園・小学校の連携を図り、「就学前カリキュラム」を基にした保育に努めます。
- 2 創造的で自主的な活動が展開できる環境づくりをします。また、継続した育ちができるような保育を行い、「生きる力」を育てます。
- 3 家庭や地域との連携を図り、養護と教育が一体となった保育を展開し、より豊かな人間性を持った「こころ」を育てます。
- 4 避難訓練計画、災害時の役割分担の確認、マニュアルの見直し等に取り組み、周知徹底し、緊急時に備えます。
- 5 職員の資質向上を図り、多様なサービスができるように努め、より保育の質を高めます。

【施設・設備整備計画】

(単位:千円)

第1期(4～6月)		第2期(7～9月)		第3期(10～12月)		第4期(1～3月)	
物件名(購入・工事)	金 額	物件名(購入・工事)	金 額	物件名(購入・工事)	金 額	物件名(購入・工事)	金 額
2歳児室手洗い シンク	999	照明器具取替工事 下駄箱設置工事	2,300 1,586	耐震工事 0,1歳児仕切り家具	41,472 1,500		
購入等合計	999	購入等合計	3,886	購入等合計	42,972	購入等合計	0

リース等(物件・年額)	金 額
印刷機	203
リース等合計	203

平成27年度 事業計画(保育所)

施設名 同援みどり保育園

定員 125 名

【地域における施設ミッション】

人や自然を愛し、愛情豊かに子どもを育て、夢を育み、地域社会の人々と希望ある未来を創る

【重点運営目標】

- 1 子どもの人権を尊重し、一人ひとりの成長発達に対応した適切な養護と教育を行います。
- 2 子ども達が安心して園生活ができる安全で清潔な環境作りに努めます。
- 3 保護者や地域の子育て世代の方が必要としているニーズや意向を的確に捉え、就労支援や子育て支援を行います。
- 4 職員一人ひとりの能力向上の為に、園内外の研修に参加し「保育の質の向上」に努めます。
- 5 国が進める「子ども・子育て支援新制度」の動向を重視し、状況の変化に合わせて適切な対応ができるようにします。

【施設目標利用率】

平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度見込	平成27年度目標
104.0%	104.0%	103.8%	104.0%

【重点支援目標】

- 1 子どもたち一人ひとりの成長発達に合わせて、「生きる力・こころの育ち」を育む保育を実践します。
- 2 集団だからこそできる経験や多くの人々との交流の中で、子どもの主体的な活動や相互間の関わりを大切に自我や社会性を育みます。
- 3 子ども達が生活する環境を整え、安心して過ごせる生活の場を提供します。また、自然災害に対応する為に、常にBCP(事業継続計画)を見直して行きます。
- 4 保護者と連携をとり相互理解に努めながら、子育ての喜びを感じられるように育児支援に努めます。
- 5 地域社会の子育て拠点として、保育園の持つ機能を十分に発揮したサービスの充実に努めます。

【施設・設備整備計画】

(単位:千円)

第1期(4～6月)		第2期(7～9月)		第3期(10～12月)		第4期(1～3月)	
物件名(購入・工事)	金 額	物件名(購入・工事)	金 額	物件名(購入・工事)	金 額	物件名(購入・工事)	金 額
事務所エアコン交換	500	2歳児保育室床暖房工事	3,200	延長保育室トイレ改修工事	5,500		
乳児室改修工事	1,500			1歳児保育室ピアノ購入	550		
購入等	2,000	購入等	3,200	購入等	6,050	購入等	0

リース等(物件・年額)	金 額
印刷機	118
コピー機	18
リース等合計	136

平成27年度 事業計画(保育所)

施設名 つつじが丘保育園

定員 110 名

【地域における施設ミッション】

人や自然を愛し、愛情豊かに子どもを育て、夢を育み、地域社会の人々と希望ある未来を創る

【重点運営目標】

- 1 利用者の権利を尊重しながら、本園に蓄積された専門的知識技能を生かし、保育所の役割を果たします。
- 2 子育て家庭支援のニーズが多様化していく中で、様々な機関や組織と連携し、それぞれの家庭に合った支援の充実に努めます。
- 3 待機児童解消に向け、年度当初より積極的な入所定員の弾力化を行います。
- 4 職員育成計画に基づき職員の質の向上、多様なサービスを提供出来る人材の育成・研修の充実を図ると共に、保育園の安全対策を徹底し、安心安全を確保します。また、自然災害などに対応できるようBCP(事業継続計画)マニュアルの見直しをいたします。
- 5 国が進める「子ども・子育て支援新制度」に合わせ、幼児期の学校教育、保育の総合的な提供や、子育て支援の充実を目指し、円滑な運営に努めます。

【施設目標利用率】

平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度見込	平成27年度目標
119.7%	119.6%	119.9%	119.9%

【重点支援目標】

- 1 子ども一人ひとりの発達段階や精神面・家庭環境を把握し、生活リズムを整えると共に、楽しく身体を動かし、健康な身体作りを目指し、就学を見据えた関わりに努めます。
- 2 様々な実体験(命の大切さ、食育等)を通して、五感を育み、子どもの生きる力、感謝の気持ち、愛情を育てます。
- 3 生活や遊びの中で表現活動を楽しみながら基礎能力を身につけ、豊かな感性を育みます。
- 4 縦割り保育や地域世代間交流を通して、子どもたちが共に生活し、互いに関わりながらやさしさや思いやりの気持ちが育つように支援します。
- 5 子どもの発達に合わせた環境づくりに努めると共に、安心安全の中で子どもたちが十分に遊び込め、満足できる環境づくりを目指します。

【施設・設備整備計画】

(単位:千円)

第1期(4～6月)		第2期(7～9月)		第3期(10～12月)		第4期(1～3月)	
物件名(購入・工事)	金 額	物件名(購入・工事)	金 額	物件名(購入・工事)	金 額	物件名(購入・工事)	金 額
プールめかくしフェンス	600	給食室改修	7,700	0歳児保育室改修工事	5,500	大型遊具塗装	600
2Fテラス防水	2,500						
購入等合計	3,100	購入等合計	7,700	購入等合計	5,500	購入等合計	600

リース等(物件・年額)	金 額
観察用水槽	370
リース等合計	370

平成27年度 事業計画(保育所)

施設名 同援さくら保育園

定員 108 名

【地域における施設ミッション】

人や自然を愛し、愛情豊かに子どもを育て、夢を育み、地域社会の人々と希望ある未来を創る

【重点運営目標】

- 1 社会環境や家庭環境を十分考慮し、子ども一人ひとりの成長発達に合わせた保育、集団生活ならではの体験を多くする中で子どもの生きる力を育てます。
- 2 地域の子育ての拠点として様々な保育事業を通し、利用者に寄り添い就労支援・子育て支援の充実に努めます。
- 3 保護者や地域が保育園に求めているニーズに対し、今まで積み重ねてきた専門的知識・技能を十分に発揮し、育児力向上に向けた情報提供に努めます。
- 4 職員一人ひとりのスキルアップのための研修計画や園内研修の充実に努め、多様なサービス、質の高い保育の提供ができる人材育成を目指します。
- 5 今年度から開始される「子ども・子育て支援新制度」に合わせて区と連携を取りながら、適切な対応をします。

【施設目標利用率】

平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度見込	平成27年度目標
110.0%	112.0%	111.9%	111.0%

【重点支援目標】

- 1 社会環境や家庭環境を十分考慮し、子どもの成長発達に合わせ、子どもの生きる力、たくましい心と身体づくりを進めて行きます。
- 2 保護者の一日保育士体験を通し子どもや園の理解につなげ、子育ての喜びを感じられるよう子育て支援に努めます。
- 3 集団だからこそできる活動や様々な活動を通し、子ども一人ひとりの豊かな経験や自信につなげます。
- 4 職員一人ひとりの保育のスキルアップを図り、多様なニーズに対しより良い保育の実践、保育内容の充実に努めます。
- 5 子どもたちが意欲的に園生活が送れるよう、安心・安全な環境づくりに努めます。また、安心な食事の提供、自然災害等に対するBCP(事業継続計画)の見直しに努めます。

【施設・設備整備計画】

(単位:千円)

第1期(4～6月)		第2期(7～9月)		第3期(10～12月)		第4期(1～3月)	
物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額
		一時保育室収納棚	758				
購入等合計	0	購入等合計	758	購入等合計	0	購入等合計	0

リース等(物件・年額)	金額
リース等合計	0

平成27年度 事業計画(保育所)

施設名 仮称)拝島駅前保育所準備室

定員 48 名(予定)

【地域における施設ミッション】

市内の待機児童の減少に寄与するため、利用者にとって最善の施設づくりに努めます。

【重点運営目標】

- 1 市と協議を重ね、駅前再開発事業の一環として、地域の子育てを支援します。
- 2 建物の基本設計・実施設計は、新園のコンセプトを反映し、地域状況や立地を踏まえたものとします。
- 3 設計業者と協議を重ね、利用者の安全と安心を確保できる設計とします。
- 4 地盤造成、擁壁工事、本体工事とスムーズな着工に繋がるよう、進捗状況の管理を着実にを行います。

【施設目標利用率】

平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度見込	平成26年度目標
/	/	/	/

【重点支援目標】

- 1 既存施設における技術、ノウハウ、マニュアル等を共有し、開所当初からの保育の質の確保に努めます。
- 2 既存施設と協議の上、人材確保を計画的に進めます。

【施設・設備整備計画】

(単位:千円)

第1期(4～6月)		第2期(7～9月)		第3期(10～12月)		第4期(1～3月)	
物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額
本体工事	321,069						
購入等合計	321,069	購入等合計	0	購入等合計	0	購入等合計	0

リース等(物件・年額)	金額
リース等合計	0

2 高齢者支援系施設の経営

養護老人ホーム、軽費老人ホーム、救護施設、特別養護老人ホーム、老人デイサービスセンター、認知症高齢者グループホーム、小規模多機能型居宅介護施設、並びに地域包括支援センター等を経営します。

1 グループ方針

地域包括ケアシステム構築の更なる推進に向け、地域に根差した拠点施設として地域の方々や利用者、家族に安心と安全を提供できる体制を創ります。また、様々なニーズに対応できる利用者本位のサービスを広げていけるように専門性を育て高品質サービスの構築に努めます。

2 グループ目標

- 1 入居者がその有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるように介護・支援します。
- 2 利用者の人権に配慮し、自己決定に基づく介護・支援を行います。
- 3 地域の拠点施設として、介護・医療の連携を推進して、地域住民はもとより地域に開かれた施設を展開します。
- 4 心に寄り添うことを目指し、思いやりと安心感の広がる介護・支援を目指します。
- 5 BCP(事業継続計画)を見直すとともに、個別対応に配慮し、顧客満足第一の介護・支援を目指します。
- 6 介護報酬の大幅な削減に伴い、介護保険施設はもとよりグループ全体で業務改善に多角的に取り組み、安心安全の運営及び健全経営を目指します。

1 養護老人ホーム

65歳以上であって、心身上もしくは精神上または環境上の理由及び経済的理由により居宅において養護を受けることが困難な方を養護します。

2 軽費老人ホーム

60歳以上で生活費に充てることのできる収入が定められた基準以下で、身寄りのない、あるいは家庭の事情によって家族との同居が困難な方を利用契約により無料又は低額な料金で、日常生活上必要な便宜を供与します。なお、ライトホームは、自炊のできる程度の健康状態にある方が利用されます。

3 救護施設

身体や精神に障害があり、経済的理由も含めて日常生活をおくるのが困難な人たちが、健康に安心して生活できるよう、生活扶助を行います。

4 特別養護老人ホーム

65歳以上であって、常時介護を必要とされ、居宅においてこれを受けることが困難であり、介護保険法の規定による介護福祉施設サービスに係る施設介護サービス費の支給に係る方等を養護します。

5 老人デイサービスセンター

65歳以上であって、日常生活を営むのに支障がある方に、通所により入浴・食事の提供・機能訓練等各種のサービスを提供し、生活の助長、社会的孤立感の解消、心身機能の維持向上並びにご家族の身体的・精神的な負担の軽減を図ります。

6 地域包括支援センター

高齢者の方が住みなれた地域で安心して暮らせるように、介護、福祉、健康、医療など様々な面から総合的な支援を行います。

7 認知症対応型共同生活介護

65歳以上で、認知症であるために日常生活を営むのに支障がある方に対して、共同生活する住居で入浴、排せつ、食事等の介護その他の日常生活上の援助を行います。

8 小規模多機能型居宅介護事業

地域密着型サービスのひとつで、事業所に登録している利用者に対して、通い・訪問・泊まりのサービスを柔軟に一体的に提供し、介護の効果の高いサービスを提供します。

9 居宅介護支援事業所

居宅において介護保険で受けられる指定居宅サービスや特例居宅介護サービスなどの紹介、いろいろなサービスの調整、居宅支援サービス費にかかる費用の計算や請求などを要介護者の代わりに行う事業所です。介護支援専門員(ケアマネージャー)が、介護支援計画(ケアプラン)を作成したり、その他の介護に関する専門的な相談に応じます。

平成27年度 事業計画(養護老人ホーム・軽費老人ホーム)

施設名 万世敬老園

定員 200 名

【地域における施設ミッション】

養護を必要とする高齢者を護り、自立を支援します。

【重点運営目標】

1 養護研究活動を通して、人材育成を図ります。

2 施設の環境を快適にし、安全で安心できる生活を作ります。

3 生活困窮者を積極的に受け入れ、稼働を充実し、財源の適正化を図ります。

4 地域活動を活性化し、地域に役立つ施設づくりをします。

5 防災意識を高め、災害時の事業継続計画を見直します。

【施設目標利用率】

平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度見込	平成27年度目標
100.2%	100.5%	99.5%	100.0%

【重点支援目標】

1 利用者主体の自由を尊重し、個々に応じた自立を支援します。

2 措置理由の改善、解消に向けたケースワークをします。

3 快適で安心できる環境を職員とともに作り、家庭的な生活感を高めていきます。

4 利用者の活動が、地域に役立つ活躍に繋がるよう支援します。

5 心身の健康の維持向上を生活の中で実践します。

【施設・設備整備計画】

(単位:千円)

第1期(4～6月)		第2期(7～9月)		第3期(10～12月)		第4期(1～3月)	
物件名(購入・工事)	金 額	物件名(購入・工事)	金 額	物件名(購入・工事)	金 額	物件名(購入・工事)	金 額
PCサーバー入替	860	エアコン取替工事	630	居室床工事	1,600	エアコン取替工事	420
電話交換工事	2,800						
温蔵庫	440						
購入等合計	4,100	購入等合計	630	購入等合計	1,600	購入等合計	420

リース等(物件・年額)	金 額
寝具リース	3,600
居室防災カーテン	520
リース等合計	4,120

平成27年度 事業計画(養護老人ホーム・軽費老人ホーム)

施設名 サンホーム

定員 50 名

【地域における施設ミッション】

自ら望む生活を地域との係わりの中で実現出来るよう自立支援を展開します。

【重点運営目標】

- 1 法令を遵守し利用者の立場にたった自立支援をめざし各部署連携のもとに努力します。
- 2 地域ニーズに添った施設資源の提供に努めると共に利用者の自立支援に繋がる地域との連携も強化します。
- 3 施設情報をホームページ、サンホームだより等で地域に発信し施設理解に繋がると共に、災害時行動指針に基づいた地域協力にも努力します。
- 4 利用者の安心、安全に繋がるようリスクマネジメントの充実に向けて研鑽努力します。
- 5 利用者満足を第一義としながら、安定経営を目指して無駄の削減に取り組みます。

【施設目標利用率】

平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度見込	平成27年度目標
100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

【重点支援目標】

- 1 利用者本位の自立した生活が営めるよう尊厳を重んじ、その能力に応じた支援に努めます。
- 2 地域の一員として社会参加へ繋がるように社会資源を活用し、地域との交流の機会を設け生活の幅が広がるような支援に努めます。
- 3 安全で安心な生活が送れるように住環境整備に努めます。
- 4 保証人との情報共有を基本とし、利用者様が安心して暮らせるように、外部機関等との調整を行ないます。
- 5 施設行事等、生活の中でも介護予防活動に取り組んでいきます。

【施設・設備整備計画】

(単位:千円)

第1期(4～6月)		第2期(7～9月)		第3期(10～12月)		第4期(1～3月)	
物件名(購入・工事)	金 額	物件名(購入・工事)	金 額	物件名(購入・工事)	金 額	物件名(購入・工事)	金 額
外壁補修調査	1,000	浴室LED照明交換工事	500			4階LED廊下照明交換工事	1,500
購入等合計	1,000	購入等合計	500	購入等合計	0	購入等合計	1,500

リース等(物件・年額)	金 額
リース等合計	0

平成27年度 事業計画(養護老人ホーム・軽費老人ホーム)

施設名

定員 名

【地域における施設ミッション】

高齢者が安心して生活できる場の提供をします。

【重点運営目標】

- 1
- 2
- 3
- 4
- 5

【施設目標利用率】

平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度見込	平成27年度目標
67.0%	68.3%	78.0%	70.0%

【重点支援目標】

- 1
- 2
- 3
- 4
- 5

【施設・設備整備計画】

(単位:千円)

第1期(4～6月)		第2期(7～9月)		第3期(10～12月)		第4期(1～3月)	
物件名(購入・工事)	金 額	物件名(購入・工事)	金 額	物件名(購入・工事)	金 額	物件名(購入・工事)	金 額
購入等合計	0	購入等合計	0	購入等合計	0	購入等合計	0

リース等(物件・年額)	金 額
リース等合計	0

平成27年度 事業計画(救護施設)

施設名 昭島荘

定員 100名

【地域における施設ミッション】

利用者個人のライフスタイルやライフステージに合わせた支援を行います。

【重点運営目標】

- 1 利用者の高齢化・重度化や精神障害者への対策を検討します。
- 2 豊かで充実した生活の実現を目指します。
- 3 ホームページ等により情報開示を促進します。
- 4 快適な生活が出来る環境作りに努めます。

【施設目標利用率】

平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度見込	平成27年度目標
100.0%	100.0%	99.0%	100.0%

【重点支援目標】

- 1 セーフティネット機能強化と地域移行に向けた居宅生活訓練事業(独自事業)を行います。
- 2 個別支援計画の充実を図ります。
- 3 安心して豊かに生活できる環境を整えます。

【施設・設備整備計画】

(単位:千円)

第1期(4～6月)		第2期(7～9月)		第3期(10～12月)		第4期(1～3月)	
物件名(購入・工事)	金 額	物件名(購入・工事)	金 額	物件名(購入・工事)	金 額	物件名(購入・工事)	金 額
北門交換設置	1,960	医務室改修工事	730	フルリクライニング	1,080		
スロープ貼替工事	930	高圧設備工事	2,000	キャリー			
洗濯場空調工事	1,050	利用者用金庫	700	2階トイレ床新設工事	700		
物置倉庫(作業)	750	全自動洗濯脱水機	2,400	マットレス	1,600		
サーバ	1,050	食器洗浄機	900				
購入等合計	5,740	購入等合計	6,730	購入等合計	3,380	購入等合計	0

リース等(物件・年額)	金 額
寝具リース	2,300
リース等合計	2,300

平成27年度 事業計画(特別養護老人ホーム)

施設名

定員 名 短期入所 専用 名
空床利用 名

【地域における施設ミッション】

地域包括ケアシステム構築の中で、安心・安全を提供できる拠点施設を目指します。

【重点運営目標】

- 1 介護人材の確保と離職防止のため、「持ち上げない介護」の推進や研修の充実により介護人材の育成に努めます。
- 2 入所手続きを迅速に行ない、速やかな入所に繋げるとともに短期入所利用を促進し、稼働率の向上を目指します。
- 3 支援目標を明確にするため、家族参加のケアプラン会議を促進し、より個別ケアに配慮した介護を目指します。
- 4 地域の諸機関、民生委員、ボランティア等と共同し、利用者・地域ニーズに応じていきます。
- 5 生活課題を抱えた高齢者の拠り所や災害時においても事業の継続が出来るよう、施設はセーフティネットであるという自覚を持って運営します。

【施設目標利用率】

平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度見込	平成27年度目標
94.0%	95.0%	96.5%	98.0%

【重点支援目標】

- 1 その方のADLや認知症状に関わらず、自己決定に基づいた自立支援に努め、自信を持って生活できるように援助します。
- 2 「寄り添う介護」をモットーに個別ケアをさらに推進し、QOLの向上を目指します。
- 3 安心・安全な生活環境の提供とケアマニュアルの習得により、事故予防、迅速な対応を行ないます。
- 4 研修への参加及び研究へ携わり、自己鍛錬に努め、介護技術・接遇技術の向上を追求いたします。
- 5 安心できる終の住処となるべく、可能な限り看取り介護ができるよう取り組みます。

【施設・設備整備計画】

(単位:千円)

第1期(4～6月)		第2期(7～9月)		第3期(10～12月)		第4期(1～3月)	
物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額
		外壁タイル補修	8,000			汚水ポンプ交換	1,500
購入等合計	0	購入等合計	8,000	購入等合計	0	購入等合計	1,500

リース等(物件・年額)	金額
寝具	2,280
リース等合計	2,280

平成27年度 事業計画(特別養護老人ホーム)

施設名 ニューフジホーム

定員	100名	短期入所 専用	4名
		空床利用	6名

【地域における施設ミッション】

地域の住民が、老後も安心・安全に暮らし続けられるよう、専門的ケアを積極的に地域還元するとともに、地域のセーフティーネットとしての拠点施設を目指す。

【重点運營目標】

- | | |
|---|---|
| 1 | 利用者の人権を尊重し、生活ニーズに応じた住環境の整備に努めます。 |
| 2 | 個別人材育成計画に基づき、職種・経験年数等に応じた体系的な研修やOJTを実施し、職員の人材育成を図ります。 |
| 3 | 入居待機者の事前確保やショート稼働率の向上等、各種加算体制の整備、コスト管理の徹底を行い、健全で安定的な経営を行います。 |
| 4 | 職場体験児童の受け入れや社協との連携、地域おもちゃ病院の支援他、地域の期待に応え、寝たきりの重度者や認知症の利用者を積極的に受け入れます。 |
| 5 | 防災に関するBCP(事業継続計画)の見直しや感染症の園内感染予防等、リスクマネジメントの徹底を図り、安心・安全な住環境整備に努めます。 |

【施設目標利用率】

平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度見込	平成27年度目標
96.0%	85.5%	93.2%	98.0%

【重点支援目標】

- | | |
|---|--|
| 1 | 丁寧で寄り添う個別ケアを実践し、ゆとりある生活を提供します。 |
| 2 | 各セクションの連携・協働を強化し、ケアプランに基づいた統一的な支援を推進します。 |
| 3 | 介護力向上を図り、より専門性の高いサービスの提供を実践します。 |
| 4 | 持ち上げない移乗を実践し、負担の少ないやさしい介護を行います。 |
| 5 | 外出支援を含むレクリエーションの充実を図ります。 |

【施設・設備整備計画】

(単位:千円)

第1期(4～6月)		第2期(7～9月)		第3期(10～12月)		第4期(1～3月)	
物件名(購入・工事)	金 額	物件名(購入・工事)	金 額	物件名(購入・工事)	金 額	物件名(購入・工事)	金 額
ガラス飛散防止 (2期)	650	居室空調	600			温冷配	3,000
職員ユニホーム	500	トイレ改修(来客)	3,200			2階西フロアー 間仕切り	1,000
購入等合計	1,150	購入等合計	3,800	購入等合計	0	購入等合計	4,000

リース等(物件・年額)	金 額
寝具リース	2,580
カーテンリース	570
リース等合計	3,150

平成27年度 事業計画(特別養護老人ホーム)

施設名

定員 名 短期入所 専用 名
空床利用 名

【地域における施設ミッション】

多様な高齢者事業を備えた地域拠点の一環として、認知症カフェを充実させ、地域包括ケアの充実により住民が安心して暮らせる街づくりに貢献します。

【重点運営目標】

- やさしさを起点とした「介護」を実践し、ご利用者の安心・安全、やすらぎ、尊厳を保障します。
- 利用者、ご家族、地域住民の信頼に応えるため、コンプライアンスを核とした運営、利用者サービスに努めます。
- 利用者サービスの向上を目指し、法人研修、施設内研修、外部研修等多角的、重層的に職員の育成強化を図ります。
- 制度改正に的確に対応し、サービスの継続性に配慮した健全な財政基盤づくりを目指します。設備のリフォームに努め、より快適な施設をつくります。
- 原町高齢者複合施設、関連諸機関、地域住民と連携し、この街で安心して暮らせる拠点となります。

【施設目標利用率】

平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度見込	平成27年度目標
98.1%	99.0%	99.0%	99.0%

【重点支援目標】

- 持っている力を引き出し、その人らしい生活を支援します。(パーソンセンタードケア)
- 認知症緩和療法(ハプティックセラピー)のさらなる充実を図ります。
- 医療的ニーズに対するサービスを提供します。
- 排泄時を含めた持ち上げない介護の充実にも努めます。
- 口腔ケアの充実にも努めます。

【施設・設備整備計画】

(単位:千円)

第1期(4～6月)		第2期(7～9月)		第3期(10～12月)		第4期(1～3月)	
物件名(購入・工事)	金 額	物件名(購入・工事)	金 額	物件名(購入・工事)	金 額	物件名(購入・工事)	金 額
				床壁天井工事	11,000	送迎用車両	4,500
購入等合計	0	購入等合計	0	購入等合計	11,000	購入等合計	4,500

リース等(物件・年額)	金 額
リース等合計	0

平成27年度 事業計画(特別養護老人ホーム)

施設名

定員 名 短期入所 専用 名
空床利用 名

【地域における施設ミッション】

地域の方々が気軽に立ち寄れる施設を目指すとともに、セーフティーネットとしての役割を果たします。また地域包括ケアシステム構築のため、ICT(情報通信技術)を活用し地域医療との連携に取り組みます。

【重点運営目標】

- 1 制度改正による報酬減に対し、ベッドの稼働と介護の質を高め適切な報酬請求を行うとともに、さらなるコスト削減に努めます。
- 2 介護従事者がやりがいと希望を持ち続けられるように、個別育成計画に基づく体系的な研修・育成に努めます。
- 3 高齢者虐待を防止し、接遇向上の取り組みを継続します。
- 4 地域交流事業を継続し、施設の専門的ケアを地域に還元します。
- 5 老朽化した施設設備を点検し、計画的な設備改修を行います。

【施設目標利用率】

平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度見込	平成27年度目標
98.9%	97.1%	97.3%	99.0%

【重点支援目標】

- 1 認知症利用者や看取り対応時にタクティールケアを行うなど、心理的なケアを積極的に行います。
- 2 口腔状態や身体状況を把握し、嚥下機能維持の取り組みを強化します。
- 3 介護支援専門員を各フロアに配置し、心身状況の変化には柔軟に対応します。
- 4 防災訓練や地域との総合訓練を通じ、大規模災害時のBCP(事業継続計画)を随時見直します。
- 5 ボランティア・地域担当職員を配置するとともに、認知症キャラバンに参加し介護教室を行うなど、地域へ積極的に発信します。

【施設・設備整備計画】

(単位:千円)

第1期(4~6月)		第2期(7~9月)		第3期(10~12月)		第4期(1~3月)	
物件名(購入・工事)	金 額	物件名(購入・工事)	金 額	物件名(購入・工事)	金 額	物件名(購入・工事)	金 額
3階空調工事	11,900	電動ベッド	1,000	雑排水ポンプ更新	500	電動ベッド	1,000
厨房空調更新	750	建物診断	1,600				
地域交流椅子・机	600						
購入等合計	13,250	購入等合計	2,600	購入等合計	500	購入等合計	1,000

リース等(物件・年額)	金 額
寝具リース一式	1,060
リース等合計	1,060

平成27年度 事業計画(特別養護老人ホーム)

施設名 ひかり苑

定員 50名 短期入所 専用 4名
空床利用 5名

【地域における施設ミッション】

地域の方々や利用者、家族に信頼される施設として、社会的役割を果たします。

【重点運営目標】

- 1 法人理念と高齢者支援系グループ方針を遵守し、業務を遂行します。
- 2 常に心身ともに健康で、安心して働ける職場環境を作ります。
- 3 地域の拠点施設として地域と連携し、施設機能を開放及び提供します。
- 4 BCP(事業継続計画)に基づく施設運営と、利用者が快適で安心して生活ができる環境を作ります。
- 5 介護報酬の減額改定を踏まえ、経費削減に全員で取り組み年間目標稼働率を達成し、安定経営を目指します。

【施設目標利用率】

平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度見込	平成27年度目標
98.7%	98.4%	98.5%	99.0%

【重点支援目標】

- 1 利用者の人権を尊重し、礼儀正しく接します。
- 2 「親切」「丁寧」「誠実」をモットーに「個別ケア」に努めます。
- 3 常に専門性を追求し、「介護の質」の向上に努めます。
- 4 安心・安全な「持ち上げない介護」を実践します。
- 5 人間性と社会性を大切にしながらサービスを提供します。

【施設・設備整備計画】

(単位:千円)

第1期(4～6月)		第2期(7～9月)		第3期(10～12月)		第4期(1～3月)	
物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額
建物外壁タイル調査	1,000	台下冷凍冷蔵庫	260				
居室トイレ改修	1,500	清拭車	170				
省エネ化工事(LED)	9,200	電動ベット(2台)	600				
購入等合計	11,700	購入等合計	1,030	購入等合計	0	購入等合計	0

リース等(物件・年額)	金額
リース等合計	0

平成27年度 事業計画(高齢者デイサービスセンター)

施設名 フジ・デイサービスセンター

定員 25 名(1日あたりの定員)

【地域における施設ミッション】

地域の拠点施設として利用者の思いに添った多様な介護サービスの提供をします。

【重点運営目標】

- 1 稼働率向上とニーズの充足のため、営業地域の見直しを行います。
- 2 より質の高いサービスが提供できるよう、リハビリの強化を図ります。
- 3 各居宅介護支援事業所やご家族と連携を図り、きめ細やかなサービスを提供します。
- 4 職員育成を図り、より質の高いサービスが提供できるよう努めます。

【施設目標利用率】

平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度見込	平成27年度目標
69.7%	72.1%	69.0%	78.0%

【重点支援目標】

- 1 個人が、在宅生活を継続できるよう、自立支援のサポートをします。
- 2 個々の利用者のニーズに合ったサービスを計画・実行します。
- 3 新しい介護技術の進歩に対応し、常に適切な技術を持って、援助を行います。
- 4 ボランティアや地域の協力を積極的に受け入れ、多種多様なサービスを提供します。

【施設・設備整備計画】

(単位:千円)

第1期(4～6月)		第2期(7～9月)		第3期(10～12月)		第4期(1～3月)	
物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額
購入等合計	0	購入等合計	0	購入等合計	0	購入等合計	0

リース等(物件・年額)	金額
リース等合計	0

平成27年度 事業計画(高齢者デイサービスセンター)

施設名 フジ・デイホーム

定員 10 名(1日あたりの定員)

【地域における施設ミッション】

指定地域密着型通所施設として地域の方々が住み慣れた場所で安心して暮らして行くことができるようにニーズに応じたサービスを提供します。

【重点運営目標】

- 1 市内の居宅介護支援事業所などと連携を取りながら地域の方々のニーズに対応して行きます。
- 2 認知症ケアに特化した通所施設として、在宅生活の継続を望むご家族の介護負担軽減のための相談等も積極的に行います。
- 3 併設する特別養護老人ホーム等と連携して利用者に関する情報共有を密に行い、複合型施設としてのスケールメリットを活かして地域に根差した施設を目指します。
- 4 実習生を積極的に受け入れ、将来の社会福祉を担う人材育成に寄与します。
- 5 地域のボランティア等を積極的に受け入れ、社会資源の活用と開かれた施設づくりを行います。

【施設目標利用率】

平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度見込	平成27年度目標
80.0%	83.0%	70.0%	76.0%

【重点支援目標】

- 1 利用者個々の有する能力を専門的な見地で把握して自立した生活を送ることができるように支援します。
- 2 認知症の緩和ならびに身体機能の低下を防ぐために、体操など動きのある活動と、創作などの静的活動をバランスよく組み合わせて提供します。
- 3 利用者個々のニーズに合った活動を個別に提供し、残存機能の維持ならびに向上を目指します。
- 4 特養やデイサービスの行事に参加したりデイホーム独自の行事を企画開催することで、より多くの人と触れ合う機会を作り、社会性の維持を図ります。
- 5 少人数の落ち着いた環境を活かして、利用者が家庭的な雰囲気の中で心身機能の維持や社会参加ができるようなサービスを提供します。

【施設・設備整備計画】

(単位:千円)

第1期(4～6月)		第2期(7～9月)		第3期(10～12月)		第4期(1～3月)	
物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額
購入等合計	0	購入等合計	0	購入等合計	0	購入等合計	0

リース等(物件・年額)	金額
リース等合計	0

平成27年度 事業計画(高齢者デイサービスセンター)

施設名 原町デイサービスセンター

定員 12 名(1日あたりの定員)

【地域における施設ミッション】

地域の拠点として、認知症高齢者の在宅生活を支え、住民が安心して暮らせる街づくりに貢献する。

【重点運営目標】

- 1 やさしさを起点とした「介護」を実践し、利用者の安心・安全、やすらぎ、尊厳を保障します。
- 2 地域との連携を図り、スケールメリットを活かし、重層的に地域に貢献できるよう努めます。
- 3 利用者に快適な環境を作ります。
- 4 業務の効率化に取り組み、質の高いサービスを提供します。
- 5 利用者のニーズに応え、安定した経営を目指します。

【施設目標利用率】

平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度見込	平成27年度目標
/	56.3%	59.5%	68.0%

【重点支援目標】

- 1 持っている力を引き出し、その人らしい生活を支援します。(パーソンセンタードケア)
- 2 ケアプランに基づいた、丁寧なサービスを提供します。
- 3 ブネを実践し、サービス向上に努めます。
- 4 医療的ニーズに対するサービスを提供します。
- 5 安心・安全な送迎サービスを実施します。

【施設・設備整備計画】

(単位:千円)

第1期(4～6月)		第2期(7～9月)		第3期(10～12月)		第4期(1～3月)	
物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額
購入等合計	0	購入等合計	0	購入等合計	0	購入等合計	0

リース等(物件・年額)	金額
リース等合計	0

平成27年度 事業計画(高齢者デイサービスセンター)

施設名 東大和市ふれあいデイセンターひかり苑

定員 12 名(1日あたりの定員)

【地域における施設ミッション】

地域の方々や利用者、家族に信頼される施設として、社会的役割を果たします。

【重点運営目標】

- 1 法人理念と高齢者支援系グループ方針を遵守し、業務を遂行します。
- 2 常に心身ともに健康で、安心して働ける職場環境を作ります。
- 3 地域包括システムを推進するため、地域の関係機関と連携を強化します。
- 4 BCP(事業継続計画)に基づく施設運営と、利用者が快適で安心して生活ができる環境を作ります。
- 5 経費削減に全員で取り組み、年間稼動目標を達成し安定経営を目指します。

【施設目標利用率】

平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度見込	平成27年度目標
62.7%	71.6%	65.0%	85.0%

【重点支援目標】

- 1 利用者の人権を尊重し、礼儀正しく接します。
- 2 「親切」「丁寧」「誠実」をモットーに「個別ケア」に努めます。
- 3 家族、関係機関と連携して、認知症の周辺症状の緩和に努めます。
- 4 常に専門性を追求し、「個別ケア」の推進に努めます。
- 5 地域住民(社会資源)を活用し、在宅生活を支援します。

【施設・設備整備計画】

(単位:千円)

第1期(4～6月)		第2期(7～9月)		第3期(10～12月)		第4期(1～3月)	
物件名(購入・工事)	金 額	物件名(購入・工事)	金 額	物件名(購入・工事)	金 額	物件名(購入・工事)	金 額
購入等合計	0	購入等合計	0	購入等合計	0	購入等合計	0

リース等(物件・年額)	金 額
リース等合計	0

平成27年度 事業計画(地域包括支援センター)

施設名 榎町高齢者総合相談センター

【地域における施設ミッション】

高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう、「高齢者のなんでも相談所」としての役割を果たします。

【重点運営目標】

- 1 地域包括ケアの体制を担う、地域の中核的な相談機関としての機能の強化を図ります。
- 2 認知症高齢者へ適切なサービスが結び付くよう支援するとともに、保健・医療・福祉・介護の関係機関との連携を強化し、支援を充実して行きます。
- 3 高齢者が安心して地域で暮らし続けられるよう、医療と介護の連携強化を進めます。
- 4 地域ケア会議を開催し、多職種協働による支援の検討を通じて、地域のネットワーク構築、地域課題の把握等を推進して行きます。
- 5 介護支援専門員の相談内容分析や、担当エリア内をさらに小地域化し、地域のニーズの分析を行い、相談対応に活かします。

【施設目標利用率】

平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度見込	平成27年度目標
/	/	/	/

【重点支援目標】

- 1 高齢者が自分らしく生活を送り、その生活を継続するための支援を行います。
- 2 保健・医療・福祉と地域の連携による包括的なサービスを行います。
- 3 「権利擁護」の視点に基づいた支援を引き続き行います。
- 4 包括的・継続的なケアマネジメントの支援を行います。
- 5 9名の相談員で3職種を持ち、(社会福祉士・主任ケアマネジャー・保健師等)チームアプローチを展開します。

【施設・設備整備計画】

(単位:千円)

第1期(4～6月)		第2期(7～9月)		第3期(10～12月)		第4期(1～3月)	
物件名(購入・工事)	金 額	物件名(購入・工事)	金 額	物件名(購入・工事)	金 額	物件名(購入・工事)	金 額
購入等合計	0	購入等合計	0	購入等合計	0	購入等合計	0

リース等(物件・年額)	金 額
リース等合計	0

平成27年度 事業計画(地域包括支援センター)

施設名 昭島市中部地域包括支援センターあいぽっく

【地域における施設ミッション】

高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう、「高齢者のなんでも相談所」としての役割を果たします。

【重点運営目標】

- 1 地域包括ケア体制を担う地域の中心的な相談機関としての機能の強化を図ります。
- 2 昭島市の見守りネットワークの中心的機関としての役割を果たし、医療機関・インフォーマルケア等も含めた地域ネットワーク構築に取り組みます。
- 3 社会福祉士・主任ケアマネジャー・保健師の3職種で緊密な連携をはかりながら、昭島市の他地域包括支援センターとも連携し地域のニーズに対応します。
- 4 生活機能の低下を予防し、要介護の状態にならないように自立支援の視点を大切にしながら、介護予防のケアマネジメントを行います。
- 5 市民に向けての情報提供に積極的につとめ、地域包括支援センターの役割が市民に周知され、活用されるよう取り組みます。

【施設目標利用率】

平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度見込	平成27年度目標

【重点支援目標】

- 1 高齢者が、地域で自分らしい生活を安心しておくれるための支援と情報を提供します。
- 2 保健・医療・福祉・地域の連携を推進し、見守りネットワークの実現に取り組みます。
- 3 「権利擁護」の視点に基づき、複合的な生活課題を抱える利用者や家族の支援にも他業種との連携を図りながら取り組みます。
- 4 包括的・継続的なケアマネジメントの支援を行います。地域のケアマネジャーとの連携を深めます。
- 5 社会福祉士・主任ケアマネジャー・保健師等の三職種によるチームアプローチを行います。

【施設・設備整備計画】

(単位:千円)

第1期(4～6月)		第2期(7～9月)		第3期(10～12月)		第4期(1～3月)	
物件名(購入・工事)	金 額	物件名(購入・工事)	金 額	物件名(購入・工事)	金 額	物件名(購入・工事)	金 額
購入等合計	0	購入等合計	0	購入等合計	0	購入等合計	0

リース等(物件・年額)	金 額
リース等合計	0

平成27年度 事業計画(認知症対応型共同生活介護)

施設名

定員 名

【地域における施設ミッション】

認知症介護実践の専門機関として地域への啓発活動の充実を図ります。

【重点運営目標】

- 1
- 2
- 3
- 4
- 5

【施設目標利用率】

平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度見込	平成27年度目標
96.1%	91.7%	91.5%	96.0%

【重点支援目標】

- 1
- 2
- 3
- 4
- 5

【施設・設備整備計画】

(単位:千円)

第1期(4～6月)		第2期(7～9月)		第3期(10～12月)		第4期(1～3月)	
物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額
居間空調入替	700						
購入等合計	700	購入等合計	0	購入等合計	0	購入等合計	0

リース等(物件・年額)	金額
リース等合計	0

平成27年度 事業計画(認知症対応型共同生活介護)

施設名 原町グループホーム

定員 18 名

【地域における施設ミッション】

地域の方の「新宿区で暮らしたい」を地域とともに支えます。新宿区の大切な社会資源として地域から必要とされる事業運営を目指します。

【重点運営目標】

- 1 利用者の人格を尊重し、常に利用者の立場に立ったサービスの提供に努めます。
- 2 個別の介護計画を作成することにより、利用者が必要とする適切なサービスを提供します。
- 3 家族、地域住民同士が、ケアを「自分のこと」と捉え、「自助・互助」の意識付けを地域密着事業として展開していきます。
- 4 誰もが人として尊重され、ともに支えあう地域社会を目指し、新宿区に暮らす利用者の「普通の暮らし」を実現させます。
- 5 地域の認知症高齢者が安心して利用できる、地域に開かれた「居心地のよいグループホーム」を創造していきます。

【施設目標利用率】

平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度見込	平成27年度目標
/	87.0%	97.0%	98.5%

【重点支援目標】

- 1 利用者の普段の生活スタイルを大切に、私達の存在が利用者の普段の暮らしに溶け込むようなグループホーム作りを目指します。
- 2 利用者が可能な限り、その有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう支援を行います。
- 3 利用者の生活の支援を行い、心身機能の維持を図ります。
- 4 認知症によって自立した生活が困難になった利用者に対して、家庭的な環境のもとで、食事、入浴、排泄などの日常生活のケアを行います。
- 5 認知症に伴う行動症状・心理症状の緩和など、適切な介護技術をもってサービスを提供します。

【施設・設備整備計画】

(単位:千円)

第1期(4～6月)		第2期(7～9月)		第3期(10～12月)		第4期(1～3月)	
物件名(購入・工事)	金 額	物件名(購入・工事)	金 額	物件名(購入・工事)	金 額	物件名(購入・工事)	金 額
購入等合計	0	購入等合計	0	購入等合計	0	購入等合計	0

リース等(物件・年額)	金 額
リース等合計	0

平成27年度 事業計画(小規模多機能型居宅介護事業)

施設名 原町小規模多機能型居宅介護センター

定員 25 名

【地域における施設ミッション】

要支援、要介護状態になっても、住み慣れた地域で生活が継続できるよう支援します。地域の認知症高齢者の生活を支える社会資源としての役割を果たします。

【重点運営目標】

- 1 やさしさを起点とした介護を目指し、利用者の安全・やすらぎ・尊厳を保障します。
- 2 地域に根ざした事業所となり、共に支えあって生きる地域のまちづくりに寄与します。
- 3 小規模多機能型居宅介護事業の機能を活かしたケアマネジメントを充実させ、住み慣れた地域で暮らせるよう24時間365日安心のケアを提供します。
- 4 職員の資質向上を図り、研修体制を整備して認知症利用者の暮らしを支える在宅ケアのプロフェッショナルを育成するための教育研修を充実させます。
- 5 地域における他の在宅サービスとも共存しながら役割分担を明確にし、連携機能を強化し、適正で効果的な事業運営につなげていきます。

【施設目標利用率】

平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度見込	平成27年度目標
	41.3%	60.4%	88.0%

【重点支援目標】

- 1 パーソンセンタードケアに基づき、利用者の持てる力に着目し、在宅生活の中でのその人らしさを支援していきます。
- 2 利用者の24時間365日の在宅生活を支えるためにニーズにあった通い、泊まり、訪問のサービスを組み合わせるライフサポートプランを構築します。
- 3 家族も支援を必要とする当事者と捉え、家族の在宅マネジメントを図り、利用者の在宅生活を支えていきます。
- 4 地域密着事業の所以として利用者、家族、地域住民同志が介護を自分のことと捉え、地域に「自助・互助」の意識付けを働きかけていきます。
- 5 地域包括ケアを実現していくため、地域の認知症の方の生活を支える大切な社会資源としての存在を認めていただく仕組みを構築していきます。

【施設・設備整備計画】

(単位:千円)

第1期(4～6月)		第2期(7～9月)		第3期(10～12月)		第4期(1～3月)	
物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額
購入等合計	0	購入等合計	0	購入等合計	0	購入等合計	0

リース等(物件・年額)	金額
リース等合計	0

3 障害者支援系施設の経営

障害者支援施設、心身障害者福祉ホーム、身体障害者福祉センター等を経営します。

1 グループ方針

・報酬改定等の障害者福祉施策の動向に注視し、安定した経営基盤の確立を目指して事業運営を行います。
・国連障害者権利条約の理念及び国内の関連法に基づき、利用者の権利擁護を推進します。
・防災・防犯対策の検証を適宜行い、実効性の高い危機管理体制を構築します。
・利用者へのサービスが高められるよう、引き続き人材育成に取り組めます。

2 グループ目標

- 1 利用者一人ひとりの満足度がより高められるように、質の高いサービスを提供します。
- 2 合理的配慮、意思決定支援、虐待防止などの理解を深め、権利擁護の理念を支援に反映させます。

地域の住民の方々が気軽に相談できる窓口の一つとして各施設が地域に貢献できるように、各々の社会資源の把握や相談事業の充実、貧困者対策等に努めます。
- 4 各グループホームの安定した事業運営に努めるとともに、利用者の多様な暮らしを支援するため、12か所のグループホームの連携を強化します。
- 5 BCP(事業継続計画)の見直しや施設間の情報交換を行い、より災害時に即応できる防災計画に取り組めます。
- 6 計画的な人材育成を進めるために、グループ内の施設や地域の関係機関等との人事交流を積極的に実施するとともに、職員の個別研修計画を作成し取り組めます。

1 障害者支援系施設

障害者総合福祉法の多機能型施設として施設入所支援・生活介護(旧法:更生)・就労移行支援・就労継続支援B(旧法:授産)・短期入所事業を行います。

2 心身障害者福祉ホーム

豊島区内の心身障害者で特定の要件を満たす方へ、日常生活における援助等を行い、心身障害者の自立生活を助長します。また、併せて緊急一時保護も行います。

3 身体障害者福祉センター

東久留米市内の居宅で生活している15歳以上の心身障害者の方が、住みなれた地域社会の中で安心して生活が送れるように各種サービスを提供し、心身障害者の自立助長及び介護にあたる家族の福祉向上を図ります。

4 共同生活援助(グループホーム)

地域で共同生活を行うのに支障のない障害者の方を対象に、夜間や休日、共同生活を営む住居において、食事の提供、相談その他日常生活上の援助を提供します。

5 特定相談支援事業

障害のある方が自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、障害福祉サービス等の利用計画の作成(計画相談支援)を行います。自立した生活を支え、障害者の抱える課題の解決や適切なサービス利用に向けて、ケアマネジメントによりきめ細かく支援します。

平成27年度 事業計画(障害者支援施設)

施設名 さやま園

定員 生活介護 96 名
 特定相談支援事業

短期入所 専用 4 名
 施設入所支援 96 名

【地域における施設ミッション】

地域との連携を強化し、入所や地域移行を促進させます。また、地域協議会、連絡会等の中核としての役割を果たします。

【重点運営目標】

- 1 利用者の権利擁護をさらに推進し、十分な合理的配慮を伴った意思決定支援を行います。
- 2 現実に即した防災訓練を実施し、スムーズなBCPを目指します。また、地域防災協定に基づいた連携を密にした準備を進めます。
- 3 地域移行を促進し、ニーズに沿った専門性の高いグループホームを計画し、重度者の利用や本園と還流性のある運営を検討します。
- 4 地域連絡会、東社協部会などへ職員が積極的に参画することでネットワークを広げ、そこで得られる情報を分析、活用して、時流を確認します。
- 5 法人の社会貢献事業の一つとして、地域のニーズを拾い、連携を取りながら生活困窮者対策等を進めます。

【施設目標利用率】

平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度見込	平成27年度目標
93.2%	93.5%	91.0%	100.0%

【重点支援目標】

- 1 サービス等利用計画を中心とした地域の相談の拠点として相談支援事業の運営を軌道に乗せます。
- 2 虐待防止委員会を中心に、定期的に虐待について学習し、科学的で根拠性を持った支援を行います。
- 3 引き続き高齢化対策に積極的に取り組み、健康維持と予防プログラムを強化します。そのために、様々な専門家を招いて、総合的な支援計画を作ります。
- 4 日中活動(作業活動)を活発化し、利用者のセルフエスティームが高まるような支援を行うとともに、体力づくりにも重点を置きます。
- 5 生活介護の活動拠点を地域に広げ、公共機関の利用など、地域資源を有効に活用します。

【施設・設備整備計画】

(単位:千円)

第1期(4～6月)		第2期(7～9月)		第3期(10～12月)		第4期(1～3月)	
物件名(購入・工事)	金 額	物件名(購入・工事)	金 額	物件名(購入・工事)	金 額	物件名(購入・工事)	金 額
ホームページソフト	972	2階東洗面所改修	2,500	ホールトイレ改修	2,500	2階西洗面所改修	2,500
陶芸窯	1,600	食堂入り口改修	864	洗濯室改修	2,500		
職員更衣室改修	1,410	職員休憩室	1,310	低床ベッド	900		
南棟放送設備	1,000						
製パン エアコン設置	600						
PHS配線	1,930						
西棟改修工事	2,500						
購入等合計	10,012	購入等合計	4,674	購入等合計	5,900	購入等合計	2,500

リース等(物件・年額)	金 額
車両リース(2台)	13,200
リース等合計	13,200

平成27年度 事業計画(障害者福祉サービス事業)

施設名 小茂根福祉園

定員 生活介護 40 名(通所)
 就労継続支援B 30 名(通所) 計 70 名

【地域における施設ミッション】

住み慣れた地域での「私らしい暮らし」を支援します。
 地域と協働し住みやすく優しい街づくりに貢献します。

【重点運営目標】

- 1 板橋区及び他の区立福祉園と協働し、区民のための障害者福祉に貢献して行きます。
- 2 障害者権利条約を基軸に据え、権利の主体である利用者の意思決定を尊重した支援を実践します。
- 3 様々な場面を想定したBCP訓練を積み重ね、災害に備えて行きます。
- 4 職員のキャリアと希望を考慮し、能動的に臨める個別研修計画を立て、人材育成を図ります。
- 5 ボランティアや地域交流など積極的に地域資源を活用し、風通しの良い、地域と協働する施設を目指します。

【施設目標利用率】

平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度見込	平成27年度目標
84.8%	84.9%	89.3%	95.0%

【重点支援目標】

- 1 第三者委員を交え、利用者の権利擁護を追及するとともに、虐待防止体制を整えます。
- 2 個別の特性に応じた伝え方の工夫や環境を整備するなど、更なる合理的配慮に努めます。
- 3 生活介護と就労継続支援B型が有機的に連携し、一体となって多様化する利用者支援に対応します。
- 4 清掃作業の定着と自主生産品の販路拡大により、利用者工賃の安定的な収入増につなげて行きます。
- 5 利用者参画による活動プログラムの充実を図り、利用者の自発性を引き出す支援をします。

【施設・設備整備計画】

(単位:千円)

第1期(4～6月)		第2期(7～9月)		第3期(10～12月)		第4期(1～3月)	
物件名(購入・工事)	金 額	物件名(購入・工事)	金 額	物件名(購入・工事)	金 額	物件名(購入・工事)	金 額
購入等合計	0	購入等合計	0	購入等合計	0	購入等合計	0

リース等(物件・年額)	金 額
車両リース	518
リース等合計	518

平成27年度 事業計画(障害者福祉サービス事業)

施設名 立川福祉作業所

就労移行	10	名(通所)	就労継続支援B	35	名(通所)
定員 生活介護	30	名(通所)	計	75	名

【地域における施設ミッション】

通所施設として、地域のコミュニティの輪を広げる交流を事業運営を通じて実践していきます。

【重点運営目標】

- 1 新築工事の開始に伴い、建築計画の進行を法人本部とともに管理し、事業計画に則った施設の開設が行えるように努め、工事期間中は利用者の安全確保を第一に考えます。
- 2 国連障害者権利条約の批准に伴い、権利擁護に基づき、意思決定支援・合理的配慮や虐待防止の理念の周知徹底に努めます。
- 3 地域の関係機関(立川観光協会・商工会議所・立川南口商店街)と協働して地域振興・まちづくりに取り組みます。
- 4 立川市自立支援協議会・施設交流連絡会・柴崎町防災訓練等、地域連携を深め、地域に根ざした障害者福祉計画の推進に努めます。
- 5 広域・地域の利用者ニーズに対応する為、利用定員や利用日数を弾力運用し、幅広い受け皿を持つ施設を目指します。同時に稼働率の維持・向上により施設経営の安定を目指します。

【施設目標利用率】

平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度見込	平成27年度目標
86.7%	86.0%	90.0%	95.0%

【重点支援目標】

- 1 利用者一人ひとりの尊厳をまもり、障害特徴・年齢・環境等を考慮しながら利用者の意向を十分に尊重するとともに、心身の健全・安定を目指し、一人ひとりに応じた自立を支援いたします。(余暇支援・作業の充実・家族支援等)
- 2 防災計画を進め、事業継続計画(BCP)について、法人内の各事業所と情報の交換を行い、より実効性の高い計画となるよう取り組むとともに、地域の防災計画にも参加します。
- 3 作業への参加を通じて、仕事にやりがいと責任を持ち、満足感、充実感を感じながら参加できるように支援し、工賃やボーナスの向上と、実績ある就労支援を目指します。
- 4 地域の自立支援センターやハローワーク、東京障害者職業センター 等と連携し、企業就労の促進や定着支援に取り組みます。また、就労移行支援の一環として、アセスメント実習の受け入れを開始します。
- 5 仮設事業所においても安全で快適な環境を提供していきます。新築事業所への引越しを計画的に行い、利用者が混乱しないようスムーズに移行できるように取り組みます。

【施設・設備整備計画】

(単位:千円)

第1期(4～6月)		第2期(7～9月)		第3期(10～12月)		第4期(1～3月)	
物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額
仮設解体工事	8,640	利用者用パソコン	800			店舗用物品	30,530
夢オハナ非常通報	972					食堂用物品	8,009
						建て替え工事	585,737
						車両(2台)	6,773
						家具・家電他	41,141
						給食ソフト	997
購入等合計	9,612	購入等合計	800	購入等合計	0	購入等合計	673,187

リース等(物件・年額)	金額
建物仮設リース料	5,570
リース等合計	5,570

平成27年度 事業計画(障害者福祉サービス事業)

施設名 東村山生活実習所

定員	生活介護	30	名(通所)	短期入所 専用	2	名
	就労継続支援B	10	名(通所)			
	計	40	名			

【地域における施設ミッション】

利用者のニーズに合わせて、安心して充実した地域生活を送れるよう、関係機関と連携しながら支援します。

【重点運営目標】

- 1 国際障害者権利条約に掲げられた理念の理解に努め、利用者の権利擁護に努めて行きます。
- 2 障害者総合支援法をはじめとした国、都などの障害者施策を十分に把握し、それらの法令を遵守し、事業の安定した運営に努めて行きます。
- 3 地域の福祉事業所をはじめとする関係機関と交流をもちながら、利用者の生活の質の向上に寄与して行きます。
- 4 防災計画を随時検証し、実効性のある防災対策をはじめとした危機管理体制を構築して行きます。
- 5 事業に必要な人材に関して、一人ひとり計画をたて育成して行きます。

【施設目標利用率】

平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度見込	平成27年度目標
95.0%	94.0%	94.0%	95.0%

【重点支援目標】

- 1 「合理的配慮」「意思決定支援」など障害をもつ方の権利を支援し、各自に適切な方法でサービスの提供に努めます。
- 2 障害の重度化、多様化に合わせた支援技術を身につけ、利用者サービスの向上に努めます。
- 3 危機管理体制の一つとして、利用者個々の災害時に必要な支援について、障害特性を検証しながら、作成して行きます。
- 4 就労継続支援では、利用者自らが誇りの持てるお店作りを目指し、商品の質の安定、販売等に関しても自主的に関わっているという意識を持てるよう支援します。
- 5 現在の生活を安心して送れるよう支援すると共に、利用者が希望する新たな暮らし方についても、関係機関と連携をとりながら実現できるよう取り組んで行きます。

【施設・設備整備計画】

(単位:千円)

第1期(4～6月)		第2期(7～9月)		第3期(10～12月)		第4期(1～3月)	
物件名(購入・工事)	金 額	物件名(購入・工事)	金 額	物件名(購入・工事)	金 額	物件名(購入・工事)	金 額
購入等合計	0	購入等合計	0	購入等合計	0	購入等合計	0

リース等(物件・年額)	金 額
リース等合計	0

平成27年度 事業計画(心身障害者福祉ホーム)

施設名 さくらんぼ

特定相談支援事業

定員 14 名

【地域における施設ミッション】

利用者のニーズに合わせ、24時間、365日安心して、充実した生活を送れるように支援します。

【重点運営目標】

- 1 長期自立援護利用者の自己実現に向け、関係者との結びつきを強化していきます。
- 2 緊急一時、レスパイト、短期利用者など、多種多様なニーズに対応できる人材育成を図っていきます。
- 3 防災及び災害時の安全対策と安心・安全に生活を送るための居住空間の整備に努めます。
- 4 新たに指定相談支援事業・地域ほっとサービス事業を開始し、地域の狭間の中で生活している方などへのサービスを提供します。
- 5 豊島区障害者地域支援協議会への参画など、各関係機関と協働することで障がい者の権利擁護と地域福祉の向上に努めます。

【施設目標利用率】

平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度見込	平成27年度目標
/	/	/	/

【重点支援目標】

- 1 ご本人の望む地域生活(グループホーム)の実現に向けて、関係機関との連携を図りながら情報収集を行い、見学や体験などを行っていきます。
- 2 ファミリーサポート、セーフティネットとしての役割を十分に発揮し、ご家族も安心して生活できるように、利用者ひとり一人の特性等に応じた支援を行います。
- 3 環境衛生・美化、災害時の対策を強化し、安心且つ居心地の良い生活の場の提供に努めます。
- 4 嘱託医、看護師及び区との連携を図りながら、医療的ケアを必要とする利用者が安心して活用できるように支援します。
- 5 指定相談事業と独自サービスとしての地域ほっとサービス事業との連携を図りながら、地域の狭間のある方などへの支援に取り組みます。

【施設・設備整備計画】

(単位:千円)

第1期(4～6月)		第2期(7～9月)		第3期(10～12月)		第4期(1～3月)	
物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額
				支援ソフト	2,500		
購入等合計	0	購入等合計	0	購入等合計	2,500	購入等合計	0

リース等(物件・年額)	金額
機械警備	1,170
リース等合計	1,170

平成27年度 事業計画(身体障害者福祉センター)

施設名 さいわい福祉センター

主な事業

地域活動支援センター事業
都型ショートステイ事業(宿泊)
日中一時支援事業
就労支援事業

生活介護
就労移行支援事業
居宅介護事業
特定相談事業

【地域における施設ミッション】

24時間365日地域福祉の拠点として必要なサービスを提供し、安心して地域で生活ができるように支援します。

【重点運営目標】

- 1 国連障害者権利条約に係る諸法令の理解を深め、人権擁護や合理的配慮等に基づく事業運営を行います。
- 2 指定管理の最終年度としてこれまでの事業評価を行い、次期指定管理の更新に向けて各事業に取り組みます。
- 3 独居の方の安否確認、大震災時訓練、必要備品の見直しなど、実効性の高い防災対策や危機管理体制を講じます。
- 4 いろいろな関係者の方々との連携を図り、地域のニーズを探り 新たな地域貢献に努めます。
- 5 職員の個別研修計画を作成し、質の高い人材の確保と幹部職員を育成します。

【施設目標利用率】

平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度見込	平成27年度目標

【重点支援目標】

- 1 必要時に迅速にサービスを提供し、利用される方々の意思決定や人権を尊重した支援を行います。
- 2 難病や発達障害等の相談にも対応できるように、知識やスキルの専門性を高めて支援に当たります。
- 3 職場体験の実習先を開拓し、就労支援関係者との情報共有や協働を通して障害者の雇用促進を図ります。
- 4 医療ケアの必要な方について、職員体制や緊急時対応等の諸課題を整理して、利用のガイドラインの作成に取り組みます。
- 5 介護機器を積極的に活用し、腰痛予防と安全・安心な介護を推進します。

【施設・設備整備計画】

(単位:千円)

第1期(4～6月)		第2期(7～9月)		第3期(10～12月)		第4期(1～3月)	
物件名(購入・工事)	金 額	物件名(購入・工事)	金 額	物件名(購入・工事)	金 額	物件名(購入・工事)	金 額
		入浴室改修	1,000	点字ブロック改修	500	送迎バス(協議)	
購入等合計	0	購入等合計	1,000	購入等合計	500	購入等合計	0

リース等(物件・年額)	金 額
送迎バス	453
リース等合計	453

平成27年度 事業計画(共同生活援助)

施設名	アミニティ富士見	定員	6	名
施設名	グリーンハイツ	定員	6	名
施設名	フレンズ・モエ	定員	5	名
施設名	パル	定員	6	名
施設名	それいゆ小川	定員	7	名
施設名	ファーム竹丘1	定員	6	名
施設名	ファーム竹丘2 (上記7か所バックアップ施設 さやま園)	定員	7	名
施設名	レチオンス巣鴨	定員	4	名
施設名	はなみずき	定員	4	名
	ユーカリ (上記3か所バックアップ施設 さくらんぼ)	定員	4	名
施設名	夢オハナ	定員	6	名
施設名	結オハナ (上記2か所バックアップ施設 立川福祉作業所)	定員	6	名

【地域における施設ミッション】

一人ひとりの豊かな地域生活を支援します。

【重点運営目標】

- 報酬改正等による障害保健福祉施策に応じて、適正且つ安定した事業運営を目指します。
- 各グループホームの連携・協働により、世話人の人材育成など、組織的な支援基盤の構築を目指します。
- 地域生活への移行を促進するため、今後もサテライト型を含めたグループホームの開設を目指します。
- 障害者虐待防止法及び関連法に基づき、人権、自己選択など利用者の権利・尊厳を尊重した支援の強化を目指します。
- 防災対策マニュアル等を見直し、利用者が安全・安心に生活できるよう有事への対策強化を目指します。

【重点支援目標】

- 意思決定、合理的配慮による個別支援計画を作成し、利用者の意向を十分に尊重した生活を支援します。
- 家庭的な環境や雰囲気づくりを大切に、和やかで楽しく安定した生活が送れるよう支援します。
- 高齢化や精神的課題等、複雑多様化するニーズに対し、社会資源の有効活用・新たな活動の創造を図り、豊かな生活が送れるよう支援します。
- 関係機関や近隣、地域との関連を深め、利用者の社会参加と自立促進を図られるよう支援します。
- 災害時への対策として、防災訓練を計画的に実施し、安全な避難方法を体得するとともに、安心して生活できる環境整備を行います。

4 児童・女性支援系施設の経営

母子生活支援施設、児童養護施設、婦人保護施設、児童厚生施設等を経営します。

1 グループ方針

- ・子どもの健全育成と子ども、女性、親子の自立支援を行います。
- ・職員の資質向上と、業種間の相互理解を深めます。
- ・各業種に共通した専門性の確立を目指します。
- ・法令を遵守し、権利と尊厳を擁護します。
- ・職員のメンタルヘルスキアの充実に努めます。
- ・地域に対してネットワークが活かせるように施設機能を提供します。

2 グループ目標

- 1 個人のニーズに応じた個別支援計画に沿って利用者一人ひとりの自立を支援します。記録の取り方を検討し、支援に活かす記録の充実に努めます。
- 2 職員個人の育成計画に基づき、利用者の要望にも柔軟に対応できるよう職員の人材育成を行います。
- 3 施設機能の特性を活かしつつ、チームケアの向上とともにアタッチメントを中核に据えた支援に取り組めます。子どもの健康を推進して豊かな情操を育てるために交流の場や遊べる場、楽しめる行事を提供します。また、危機管理に取り組み、利用者に安心と安全な環境を提供していきます。
- 4 同援憲章を基本に、法令、諸規則を遵守し、誠実かつ公正で適正な施設運営を目指します。また、利用者の人権を尊重し、個人情報を保護します。
- 5 職員一人ひとりを尊重しメンタルヘルスキアの充実に取り組み、心身ともに健康に働くことができる職場環境を充実させます。
- 6 施設機能や情報を地域に開放し、地域及び関係機関との連携、協力関係を深めます。また、地域に安全に過ごせる場を提供し、遊びや学習を通して、子どもの健全育成を図ることで地域社会に貢献します。

1 母子生活支援施設

18歳未満の子供を養育している母子家庭等の女性が、子どもと一緒に利用できる施設です。利用者の心身と生活を安定するための相談・援助を進めながら、自立を支援します。

2 児童養護施設

乳児を除いて、保護者のいない児童、虐待されている児童、その他環境上養護を要する児童を養護し、あわせてその自立を支援します。

3 婦人保護施設

売春防止法に基づく未然防止と自立のための支援を必要とする女性を保護し、生活及び就労支援を行います。

4 児童厚生施設・放課後児童健全育成事業

児童福祉法により定められた福祉施設として、児童に健全な遊び場を提供し、健康を推進して豊かな情操を育てるために児童センターを運営します。
また、保護者が労働等により昼間家庭にいない児童に対し、授業の終了後等に児童センターを利用して、学童クラブを運営し健全な育成を図ります。

平成27年度 事業計画 (母子生活支援施設)

施設名 サンライズ武蔵野

定員 20 名・世帯 緊急一時保護 1 名・世帯

【地域における施設ミッション】

母と子の「こころ」を支え、安全で安心できる環境を提供します。

【重点運営目標】

- 1 職員が法令を遵守し、利用者の状況を理解することで、職員の意識改革を進め、業務の改善・遂行に取り組むよう人材の育成を図ります。
- 2 苦情対応、ヒヤリハットを分析し、利用者対応やマニュアルを見直し、また危機管理にも取り組み、利用者に安全、安心を提供します。
- 3 記録の取り方マニュアルに基づいた記録を実践し、利用者の支援に活かします。
- 4 施設機能を地域に提供できるよう地域や関係機関との連携を進めます。

【施設目標利用率】

平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度見込	平成27年度目標
97.5%	97.1%	97.0%	100.0%

【重点支援目標】

- 1 利用者の人権の尊重、権利擁護を尊重した自立支援を行います。
- 2 2年間の利用期間を見据えて、個別の世帯状況に合わせた支援を行います。
- 3 幼児世帯、学童の高年齢化、母の勤務形態の多様化等に対応した支援に取り組みます。
- 4 必要に応じ、退所後も地域への移行期間ととらえ、アフターケアを行います。

【施設・設備整備計画】

(単位:千円)

第1期(4～6月)		第2期(7～9月)		第3期(10～12月)		第4期(1～3月)	
物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額
相談スペース設置	550			支援システム導入	3,800		
購入等合計	550	購入等合計	0	購入等合計	3,800	購入等合計	0

リース等(物件・年額)	金額
リース等合計	0

平成27年度 事業計画 (母子生活支援施設)

施設名 サンライズ青山

定員 20 名・世帯 緊急一時保護 1 名・世帯

【地域における施設ミッション】

母親と子どもが抱えている課題に関して、職員と共に解決する支援を行ないます。

【重点運営目標】

- 1 基本的人権・児童福祉法第38条などの法令遵守(コンプライアンス)を徹底します。
- 2 職員の人間性や専門性の向上を図るため、職員個別育成計画に基づく人材育成を行ないます。
- 3 健全で明るく、透明性のある職場環境を整備するため、メンタルヘルスケアに努めます。
- 4 町会活動や地域行事へ積極的に参加し、町会や企業と連携しながら地域貢献事業を推進します。
- 5 事業継続計画(BCP)に基づく、安全な生活環境を確保します。

【施設目標利用率】

平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度見込	平成27年度目標
95.8%	88.6%	65.4%	95.0%

【重点支援目標】

- 1 利用者が安心して、安全に生活できる環境を関係機関と共に構築します。
- 2 自立支援計画の根拠に基づく支援を実践するため、記録の整合性を図るマニュアルを整備します。
- 3 母親と子どもが、共に成長できる就労支援や学習支援の相談援助を行ないます。
- 4 生活の質の向上を図るため、地域住民の一員としての社会参加を支援します。
- 5 退所者へのアフターケア(電話及び訪問)は、退所先の社会資源がスムーズに活用できるようにします。

【施設・設備整備計画】

(単位:千円)

第1期(4~6月)		第2期(7~9月)		第3期(10~12月)		第4期(1~3月)	
物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額
利用者居室修繕	500	利用者居室修繕	500	利用者居室修繕 新規施設管理ソフト	750 3,500	利用者居室修繕	750
購入等合計	500	購入等合計	500	購入等合計	4,250	購入等合計	750

リース等(物件・年額)	金額
リース等合計	0

平成27年度 事業計画 (母子生活支援施設)

施設名 サンライズ万世

定員 20 名・世帯

緊急一時保護

2 名・世帯

【地域における施設ミッション】

母と子が地域社会で共に生き、共に育ちあう生活拠点の役割を果たします。

【重点運営目標】

- 1 法人の理念・方針に基づいて、利用者が安全で安心して生活が送れる環境を整えます。
- 2 全母協倫理綱領及び関係法令を遵守し、健全・公正な施設運営を目指します。
- 3 職員の資質向上を目指し、個別育成計画に基づき人材育成を行います。
- 4 職員が健康で快適に働くことができるように、また、一人ひとりを尊重し、行動する職場環境を作ります。
- 5 地域の社会資源となるように、施設機能を地域に開放します。

【施設目標利用率】

平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度見込	平成27年度目標
94.7%	93.4%	96.0%	100.0%

【重点支援目標】

- 1 一人ひとりの意思や人権を尊重します。
- 2 利用者個人の人格を尊重し、自立支援計画に基づいて、サービスを提供します。
- 3 母親・関係機関等と連携を図り、子どもが健やかに成長できるための支援を行ないます。
- 4 精神的ケアの充実のため、アタッチメントを中核に据えた支援を行ないます。
- 5 退所者のアフターケア(電話相談・家庭訪問、学習支援等相談援助)の充実を図ります。

【施設・設備整備計画】

(単位:千円)

第1期(4～6月)		第2期(7～9月)		第3期(10～12月)		第4期(1～3月)	
物件名(購入・工事)	金 額	物件名(購入・工事)	金 額	物件名(購入・工事)	金 額	物件名(購入・工事)	金 額
下駄箱・収納棚 設置	2,450	居室ガス給湯器交換 集会室用テーブル 購入	2,500 500	支援システム導入	3,500		
購入等合計	2,450	購入等合計	3,000	購入等合計	3,500	購入等合計	0

リース等(物件・年額)	金 額
なし	
リース等合計	0

平成27年度 事業計画 (児童養護施設)

施設名	双葉園	定員	38	名	
	高嶋の家(地域小規模)	定員	6	名	
	くすのき(地域小規模)	定員	6	名	計 50名
	昭島市子どもトワイライトステイ事業	定員	2	名	

【地域における施設ミッション】

子どもの人権を守り自立を支援します。

【重点運営目標】

- 1 施設設備の維持管理、人材確保等、適切な予算執行及び危機管理に取り組みます。また、円滑な事業活動に努め健全で透明性のある施設運営を目指します。
- 2 「要保護児童対策地域協議会」への積極的関与や学校等との連携を深め、地域社会における児童福祉の拠点としての役割を果たします。
- 3 トワイライトステイ事業通じて、地域の子育てを支援し、地域福祉サービスを充実して行きます。
- 4 平成26年度より専門機能強化型事業を実施することにより、多様化する子供の課題に対して、多職種の連携により支援向上と環境整備をさらに図ります。
- 5 平成27年11月より本園の小規模ユニット化工事を行い、小規模ケアを推進し安全で安心した生活が送れる支援を行います。

【施設目標利用率】

平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度見込	平成27年度目標
98.9%	97.7%	98.0%	100.0%

【重点支援目標】

- 1 「子どもの最善の利益のために」相互尊重を基軸にチームケアを推進します。
- 2 自立支援コーディネーターを中核として、一人ひとりに合った自立支援計画を作成し、一貫性のある支援とアフターケアを実施します。
- 3 愛着形成を普遍的な課題と捉え、人間関係の再構築を図ります。
- 4 専門機関の社会資源を活用し、予想される課題を早期に発見し、適切な対応を図ります。
- 5 子どもが安全で安心した生活が送れるよう環境を整え、権利擁護と安全意識をもった支援を行います。

【施設・設備整備計画】

(単位:千円)

第1期(4～6月)		第2期(7～9月)		第3期(10～12月)		第4期(1～3月)	
物件名(購入・工事)	金 額	物件名(購入・工事)	金 額	物件名(購入・工事)	金 額	物件名(購入・工事)	金 額
幼児給湯器 交換工事	548	暖房機器一式 入替工事	3,524	ユニット化工事 仮設工事	96,090 8,400		
購入等合計	548	購入等合計	3,524	購入等合計	104,490	購入等合計	0

リース等(物件・年額)	金 額
グループ ホーム 賃借料	3,150
リース等合計	3,150

平成27年度 事業計画 (婦人保護施設)

施設名 いこいの家

定員 40 名・世帯

【地域における施設ミッション】

女性の人権を守り、自立を支援します。

【重点運営目標】

- 1 売春防止法、DV防止法及び人身取引対策行動計画に基づき、女性の人権を守り、危機管理に取り組み、安心・安全な環境の提供を行うとともに、一人ひとりのそれぞれの自立を支援します。
- 2 職員の資質向上のため、職員の個別育成計画に基づき、さまざまな機会を利用して人材育成に努め、職場環境を整えます。
- 3 第三者評価受審、苦情解決制度等の活用により、利用者の権利擁護及び利用者支援の向上に努めます。
- 4 稼働率低下解消の為、きめ細かいサービス提供を目指し、施設整備を行います。
- 5 地域の中での施設として、施設の特性を踏まえたうえで、施設機能を活用して地域社会に貢献します。

【施設目標利用率】

平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度見込	平成27年度目標
74.7%	52.9%	25.0%	50.0%

【重点支援目標】

- 1 チームケア体制の充実を図ります。
- 2 健康支援、規則正しい生活を通して、心身の健康を保てるように支援を行います。
- 3 生活支援の充実。自立へのステップとして、基本的な生活習慣や生活技術の獲得ができるよう、個々の状況に合わせて支援を行います。
- 4 利用者のニーズに合った食事の提供。平成28年度からの厨房の単独化を目指し準備を進めます。
- 5 利用者の人権を尊重し、一人ひとりにあった自立に向けて支援します。

【施設・設備整備計画】

(単位:千円)

第1期(4～6月)		第2期(7～9月)		第3期(10～12月)		第4期(1～3月)	
物件名(購入・工事)	金 額	物件名(購入・工事)	金 額	物件名(購入・工事)	金 額	物件名(購入・工事)	金 額
		壁結露防止工事	584	食堂・厨房改装工事	30,000	居室内装工事	1,017
		食器消毒保管器他 (給食センター)	1,019	食堂・厨房器具備品	9,333		
購入等合計	0	購入等合計	1,603	購入等合計	39,333	購入等合計	1,017

リース等(物件・年額)	金 額
リース等合計	0

平成27年度 事業計画 (児童厚生施設・放課後児童健全育成事業)

施設名 昭島市児童センターぱれっと・つつじが丘北学童クラブ

定員 児童センター

 名
 学童クラブ

50
 名

【地域における施設ミッション】

子どもたちが安心して過ごせる場を提供し、遊び・学習などを通して健康で情操豊かな育成をする

【重点運営目標】

- 1 運営委託業務を円滑に進めるため、体制を充実し、市との連携強化を図り、事業運営を行います。
- 2 地域の子育て支援拠点として、場の提供と必要に応じた育児相談を行います。また、地域関係機関との連絡を密にし、充実した事業内容を目指します。
- 3 職員会議や研修等を充実させ、接遇マナー・コンプライアンスの認識を持ち実行します。
- 4 危機管理対策についてのマニュアルを常に検討し、非常時に実践できる体制をつくります。
- 5 利用者アンケートの意見を反映し、サービスの改善・向上に努めます。

【施設目標利用率】

平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度見込	平成27年度目標
/	/	/	/

【重点支援目標】

- 1 年齢差のある多数の子どもたちがお互いに協調しながら遊べる場や、親子が一緒に楽しめる場を提供します。
- 2 行事をより充実させ、多くの子どもたちが積極的に参加できるようにします。
- 3 遊びや学習のサポートをしながら、子どもたちの健全育成に努めます。
- 4 障がいのある子どもも安心して利用できるよう専門性を高めます。
- 5 子どもたちの安全対策を踏まえた災害時の避難訓練・防犯訓練を強化します。

【施設・設備整備計画】

(単位:千円)

第1期(4～6月)		第2期(7～9月)		第3期(10～12月)		第4期(1～3月)	
物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額
購入等合計	0	購入等合計	0	購入等合計	0	購入等合計	0

リース等(物件・年額)	金額
リース等合計	0

5 医療事業施設の経営

平成27年度 事業計画(医療事業施設)

施設名 昭島病院

定床 199 名

【地域における施設ミッション】

地域の中核病院として、地域連携の充実を図るとともに救急医療の積極的受入れと安全かつ質の高い医療の提供

【重点経営目標】

- 1 将来を見据えた財政運営と効率的運営を図ります。
- 2 院内連携を強化し、効果的で効率的な組織体制を構築します。
- 3 経営目標の設定とその実現に努めます。

【病床目標利用率】

平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度見込	平成27年度目標
76.3	71.8	70.3	80.4

【事業計画の基本事項】

- 1 円滑な運営を図るために業務改善に取り組みます。
- 2 スタッフの医療技術の一層の向上と認定看護師、専門看護師などの確保・認定資格取得等への積極的支援を行います。
- 3 新規入院患者の一層の確保に努めるとともに、在院日数の短縮と診療単価のアップを図ります。
- 4 職員のコスト意識の徹底による経費見直しを行います。

【診療運営計画】

- 1 医療事故の防止等の一層の強化を行います。
- 2 チーム医療の拡充による医療の質の向上と効率化を目指します。
- 3 DPC対象病院として、より適切な医療資源の投入を行います。

【施設・設備整備計画】

(単位:千円)

第1期(4～6月)		第2期(7～9月)		第3期(10～12月)		第4期(1～3月)	
物件名(購入・工事)	金 額	物件名(購入・工事)	金 額	物件名(購入・工事)	金 額	物件名(購入・工事)	金 額
高周波焼灼電源装置	978			調剤支援システム新RINKS	7,398	電動ベッド	5,000
シングルトリガー	3,229			自動免疫分析装置	3,600	シュレッダー	558
栄養科システムソフトメリット	1,480			診療録管理システム	2,139	自動軟水器装置	1,188
26インチ液晶モニター	993						
一般X線撮影装置	5,980						
購入等合計	12,660	購入等合計	0	購入等合計	13,137	購入等合計	6,746

リース等(物件・年額)	金 額
エアマット	1,345
CT断層撮影装置	838
リース等合計	2,183

平成27年度 事業計画(医療事業施設)

訪問看護ステーション

病気や障害を持った方が、慣れ親しんだ地域やご家庭で、療養生活を送れるよう看護師等が訪問し、看護ケアを提供します。

施設名 昭島病院訪問看護ステーション

【地域における施設ミッション】

在宅で、療養生活を送れるよう支援を行う

【重点経営目標】

- 1 緊急訪問に対応できる体制と安定した経営のため、訪問回数330回／月を目指します。
- 2 看護とリハビリをセットで提供することにより、新たな利用者確保に繋がります。
- 3 自転車の活用などでコスト削減に努めます。

【目標利用率】 *1日平均訪問回数

平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度見込	平成27年度目標
14.6	13.1	14.0	15.0

【事業計画の基本事項】

- 1 緊急時訪問に対応します。
- 2 1日15件の訪問を目標とします。
- 3 ST導入により新たな利用者確保を図ります。
- 4 地域包括ケアシステムの構築に積極的に参加します。

【施設・設備整備計画】

(単位:千円)

第1期(4～6月)		第2期(7～9月)		第3期(10～12月)		第4期(1～3月)	
物件名(購入・工事)	金 額	物件名(購入・工事)	金 額	物件名(購入・工事)	金 額	物件名(購入・工事)	金 額
				車両	800		
購入等合計	0	購入等合計	0	購入等合計	800	購入等合計	0

リース等(物件・年額)	金 額
リース等合計	0

6 収益事業の経営

1 オフセット・活版印刷事業

施設名 事業局

【重点経営目標】

1 増収を図り利益率向上に努めます。

2 全ての作業の効率化を目指します。

【事業計画の基本事項】

1 電子入札の積極的な対応で収入増を図ります。

2 デジタルオンデマンド機を活用し、カラー印刷の受注増を図ります。

3 用紙、資材の在庫管理の徹底により無駄を無くします。

4 外注加工費の削減に努めます。

【施設・設備整備計画】

(単位:千円)

第1期(4～6月)		第2期(7～9月)		第3期(10～12月)		第4期(1～3月)	
物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額
		印刷機	7,500				
購入等合計	0	購入等合計	7,500	購入等合計	0	購入等合計	0

リース等(物件・年額)	金額
デジタルオンデマンド機	1,800
家賃	8,424
リース等合計	10,224

2 不動産賃貸に関する事業経営

① 旧サンホーム跡地を活用し暫定的に駐車場として経営します。
富士見町駐車場 東村山市富士見町2-7-14

② 原町ホーム東側外構の一部を隣接マンション緑地帯として有償貸与します。原町ホーム土地賃貸業 新宿区原町3-8(原町ホーム敷地)

③ 昭島病院敷地内で来院者用駐車場の経営をします。
昭島市中神町1260

7 社会貢献事業

事業内容	昭島市社会福祉協議会と連携して市内の生活困窮家庭のこどもの学習支援を行います。
場 所	フジホーム いこいの広場
回 数	月2～3回 日曜日 13時～15時
対象学年	小学4年～中学3年生
定 員	20名
講 師	職員 学生等 (ボランティア)
運 営	NPO法人キッズドアと協力して運営にあたります。
予 算	250万円

8 人材育成事業

事業内容	介護職員初任者研修(通信)
目 的	介護の現場で働き始めて間もない方、またこれから介護の分野に携わろうとする方に向けて、介護の基礎的な知識・技術を習得し、雇用の拡大、介護福祉士を目指す人材の育成を目的としています。
対 象	介護の業務に従事しようとする一般の方及び職員
期 間	平成27年10月～12月
内 容	自宅学習 40時間、面接事業 78時間(約15日間)
施設実習	12時間 介護実習8時間、同行訪問4時間
定 員	12名
主な会場	原町高齢者複合施設 地域交流室(新宿区原町3-84)

Ⅲ 職員福利厚生制度並びに職員研修制度

本年度の職員福利厚生事業・職員研修は、下記により実施します。

1 永年勤続者表彰

10 年勤続、20 年勤続および 30 年勤続職員の表彰を実施します。

定年退職者表彰

定年退職前勤続 10 年以上の職員の表彰を実施します。

2 人間ドック検診の実施

40 才、50 才、60 才の職員が人間ドックを受診する際、その費用を助成します。

婦人科検診の実施

35 才以上の女性職員（社会保険加入）が婦人科検診を受診する際、その費用を助成します。

3 福利厚生センター事業の利用

社会福祉法人福利厚生センターの福利厚生事業（ソウェルクラブ）に加入し職員の福利厚生の向上を図ります。

4 職員のメンタルヘルスケアへの取り組み

E P A（従業員支援プログラム）に加入し、職員ならびに家族（同居）、休職者・復職者への支援カウンセリング等を行っています。

また、職員のストレスチェックを実施します。

5 事業所内保育施設「あっぷる」の運営 昭島市中神町 1260

定員 14 名 保育時間 7 時 30 分～20 時 30 分

夜間保育（月 4 回）16 時～翌 10 時

原則として、0 歳（生後 2 カ月）から 2 歳児までの、職員の子供を預かり保育します。

6 法人研修計画

《基礎研修》（5 月）：経験年数 1～3 年の職員を対象

ビジネスコミュニケーション技術の習得、傾聴力、質問力、話すスキルのポイントを学び実践に生かす研修を行います。

《中堅研修》（7 月）：経験 5 年程度の職員を対象

・プロフェッショナルな人材の特徴を理解する

・自己理解を深め、対人関係能力の向上への啓発ポイントを探す
自分に期待される役割を理解し今後の取り組み課題を明確にするアクションプランの作成をします。

《主任・副主任研修》（10月）：主任・副主任及びそれに準ずる者
テーマ「変革リーダーとしてのあり方を理解する」

- ①自職場を取り巻くビジネス環境変化に対し、自己の役割の再認識
- ②変革を実践する～業務改善
- ③リーダーの為すべき人材育成とスキル

《メンタルヘルス研修》（4月）：平成27年度新規採用職員を対象
メンタルヘルスが必要となっている具体的事例に対して、現場の職員がどのように対応していくべきなのかを習得します。職場不適應者への対処の仕方・復帰のポイント、カウンセリングマインドで聴くことなどを研修します。

《ハラスメント研修》（9月）：各リーダー層職員を対象
ハラスメントへの対応が必要となっている事例に即して職員がどのように対応していくべきなのかを習得します。

《課題別研修》

チューター研修（6月）

OJTによる育成計画の策定方法・実際の仕事の指示の仕方・ほめ方・しかり方等具体的な進め方を習得し、実践力を高めます。

プレゼンテーション能力向上研修（6月）

様々な発言の場でのコミュニケーションスキルを学ぶとともに、プレゼンテーションの実践を行います。

人事考課研修（11月）：施設長対象

人事考課の適切な運用を目指し、人事考課者への研修を行います。

リスクマネジメント研修（2月）相談業務担当者等を対象

クレーム対応の基本を学び、新たな事例を分析し研修します。

《幹部候補者研修》（5、9、10月）

平成26年度管理職試験合格者の1年目の研修として、法人内研修2回、外部研修1回及び他法人（又は法人内他施設）研修を行います。この研修を通じて、施設運営に関する基礎的能力を付与するとともに管理職候補者としての自覚を醸成します。

《新任フォローアップ研修》（10月）：今年度採用された新任職員を対象

変革の時代のビジネスパーソンに求められること、半年間の職場生活の振り返り、次のステップへ向けた目標の設定などフォローアップと合わせ研修します。

《新規採用プレ研修》（1月）：今年度新規採用予定者を対象

同援の理念・特色等を学びます。

《新任研修》（3月）：新任採用者及びそれに準ずる職員を対象

ビジネスマナーの基本、仕事の進め方、報告・連絡や相談、質の高い仕事をするためのコツについて研修をします。

《施設長研修》（11月）

人材育成の課題とは何か、人材育成のためのスキルアップ、育成手段の最適化について理解します。

《副施設長研修》（9月）：副施設長及び管理職候補者を対象

リーダーの役割、リーダーに求められること、リーダーコミュニケーションを身につけます。

《庶務担当研修》（通年）：法令改正、年末調整等の理解を深めます。

《経理担当研修》（通年）：経理事務の理解を深めます。規程、関係通知等に基づく正確な経理事務、業種別の月次、決算の実務研修を行います。

《海外派遣研修》：諸外国の先進的な取組を実地で体験し、本法人の福祉サービスの向上に資するため、副主任級以上の職員を対象として海外派遣研修を実施します。

実施期間は9月～10月頃とし、派遣職員は2名程度とします。

《グループ別研修》

グループ別において、通年3～4回ほど各テーマを定め専門的な課題の研修を実施します。また、グループ内だけでなく他業種、他施設での研修を通して、連携を必要とされている異業種の理解を深めると共に職員の視野を広げ資質向上を図る目的で、各グループ間交流の研修会も実施します。

・高齢者支援系

（7月）スキルアップ介護実践者研修

質の高い人材、質の高い介護を目指して認知症ケア等の介護技術研修を行い、介護職員のスキルアップを図ります。

（9月）新任職員研修（フレッシュマンフォローアップ研修）

利用者にとって望ましい介護とは何か、現場から説き起こす介護の実務と倫理を学びます

（10～12月）初任者研修

高齢者支援系職員が講師となり、広く地域の介護人材を養成します。

（12～2月）施設間交換研修

コア人材育成研修を行います。

（3月）新任職員フォローアップ研修

半年間の振り返りを行い今後の目標を定めます。

・ 障害者支援系

(6、7、8 月) 新任職員研修

基本的な接遇マナーを学び、ビジネスマナー、コミュニケーション技法を習得します。

(6、7 月) 管理職候補者交流研修

管理職候補者が所属施設と異なる事業運営を行っている他施設実習を経験し、グループ全体の事業運営の理解につなげます。

(9 月) 新任職員研修

グループの施設を見学し各施設の事業を理解し、法人組織の一員としての自覚を養います。

(10 月) 中堅職員研修

役割機能やマネジメントスキルを学び、次世代育成につなげます。

(2 月) 全体職員研修

専門知識の向上と支援の向上を図ります。

(通年) 施設間人事交流研修

他施設また他法人での研修を通じて、職員の資質向上と人材育成に努めます。特に中堅職員については、今後の基幹職員の育成の機会とします。

・ 保育支援系

(4 月) リスクマネジメント

保育園での危機管理について学びます。

(5、6、11 月) 人材育成研修

組織の要となる中堅職員層を育成し、園全体の資質向上を目指した研修を行います。

(10 月) 子ども・子育て支援新制度研修

27 年度からの施行する「子ども・子育て支援新制度」について、保育要領等保育内容が深まる研修を行います。

・ 児童・女性支援系

(5 月) 接遇マナー研修

入職 3 年以内職員を対象

職場における基本姿勢(ビジネスマナー)、個人情報保護の視点も含めた接遇マナーについて学び、実際の業務に活かします。

(7 月) 主任・副主任研修(ストレスマネジメント)

主任・副主任を対象

主任・副主任業務を行う中で、ストレスにどのように対応していくかを学び、ストレスの少ない職場環境を創る役割を果たします。

(9 月) メンタルヘルスケア研修 (見立てについて)

中堅職員を対象

様々な課題を抱えた利用者に対し、その見立てと具体的な対応について、事例を通して学び、利用者支援に活かします。

(11 月) 発達障害研修象

全職員を対象

専門知識を深める研修として、大人と子供の発達障害に関して、正しい知識と対応を身に着けます。

(通年) グループ内施設間交流研修 (3 日間程度)

グループ内の他施設が利用者へどのような支援をしているか、また他職種連携に必要な情報の共有化をいかに図っているかなどを学び、自施設へフィードバックします。

(通年) グループ外施設交流研修 (3 日間程度)

グループ外の他施設が、利用者へどのような支援をしているか、また他職種連携に必要な情報の共有化をいかに図っているかなどを学び、自施設へフィードバックします。

IV 理事会及び評議員会

定款の定めに従い、下記の理事会、評議員会を開催します。

1 理 事 会

平成 27 年 5 月開催	主要議案	前年度事業報告・決算承認、 監事監査報告
平成 27 年 10 月開催	主要議案	補正予算
平成 28 年 2 月開催	主要議案	施設長等人事、最終補正予算
平成 28 年 3 月開催	主要議案	次年度事業計画・当初予算承認
臨時開催	主要議案	規程改正及び事業運営の必要 に応じて開催

2 評 議 員 会

平成 27 年 5 月開催	主要議案	前年度事業報告・決算承認、 監事監査報告
平成 27 年 10 月開催	主要議案	補正予算
平成 28 年 2 月開催	主要議案	最終補正予算
平成 28 年 3 月開催	主要議案	次年度事業計画・当初予算承認
臨時開催	主要議案	事業運営の必要に応じて開催

3 理事・監事・評議員

理事長	牧野 洋一			
常務理事	菅原 眞廣			
理事	多久島耕治	橋本 泰子	原山 陽一	森谷 順蔵
	品川 卓正	上原 淳	神田 祐一	
監事	鈴木 道生	岩井 令雄		
評議員	坂井 利夫	古屋 正義	小山 寿	五十嵐力平
	本山美八郎	田中 幸子	川向 良和	飯山 幸雄
	比留間由真	堀 茂	岡橋 生幸	戸塚 洋子
	田中紀久子	六本木 尚	水谷 貞子	池田 康子
	林 美枝	牧野 洋一	菅原 眞廣	

V 施設長会及び各種委員会

本法人組織規定に基づき、施設長会および下記の委員会を設け、それぞれの運営要綱の定めにより、理事長の諮問に答え、あるいは理事長へ意見具申することにより、法人事業の適正運営に資するものとします。

1 施設長会

法人事業全般にわたる事項について、情報交換し、意見を述べ事業の実現に向けた協力並びに活動を行い、法人事業推進の中核的役割を果たします。

2 総合企画委員会

法人の事業全般にわたる企画、立案、計画等基本的な事項について調査、審議し、理事長に意見具申します。

3 人事委員会

施設幹部職員の任用・降格、職員の表彰・懲戒、採用、人材育成等人事に関する必要事項について審議します。

4 規程整備委員会

法人の組織・人事・給与及びその他諸制度に関する規程について、検討し整備を行います。

5 研修委員会

施設長、幹部候補職員、中堅職員、事務職員、新任職員等本法人職員の研修に関し、企画・実施に当たります。

6 広報委員会

「同援だより」の発行、法人ホームページの更新等本法人の広報活動に関し、その企画・実施に当たります。

7 人事考課評価委員会

職員人事考課規程に基づき、人事考課に疑義があると判断された場合において、評価が公正かつ的確に行われているかの審査を行います。

8 情報システム委員会

情報システムの適切な運用に関する推進を行います。

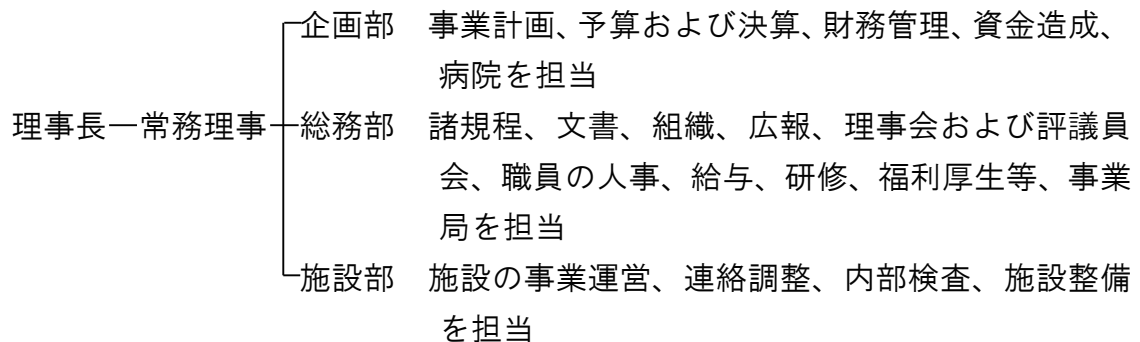
9 その他

上記の他、必要に応じ委員会等を設け、本法人事業の適正運営に資します。

VI 事務局主要業務

理事長、常務理事を補佐し、法人に関わる各種業務の円滑な執行を図ります。

1 組織（平成 27 年 4 月 1 日現在）



2 内部検査

施設・事業所の運営について、経理規程の定めるところを中心とした事業全般にわたる内部検査を行います。